

# なぎなた競技会

第79回国民スポーツ大会



湖国の感動 未来へつなぐ  
わたSHIGA輝く国スポ



期 日：2025年9月29日(月)～  
10月1日(水)

会 場：パナソニック株式会社  
くらしアプライアンス社  
彦根工場多目的ホール

主 催：🌸 公益財団法人日本スポーツ協会  
文部科学省・滋賀県  
公益財団法人全日本なぎなた連盟  
彦根市



HIKONE 2025

## 国民スポーツ大会



国民スポーツ大会(国スポ)は、広く国民の間にスポーツを普及し国民の体力向上を図るとともに、地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与することを目的として、毎年開催される国内最大の総合スポーツ大会です。

都道府県対抗で行われる正式競技・特別競技・公開競技のほか、年齢・性別・障害のあるなしを問わず、誰もが参加することができるデモンストラティオンスポーツが実施されます。

## 第79回国民スポーツ大会

### 大会愛称

わたSHIGA輝く国スポ

選手、ボランティアをはじめ、滋賀県で開催するこの大会に関わるすべての人が、様々な場面で主役として光り輝き、夢や感動、連帯感を共有できる大会を目指します。

### 大会スローガン

湖国の感動 未来へつなぐ

「琵琶湖」を擁する湖国滋賀で生まれた感動が、この大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれるようにとの願いが込められています。

### 大会マスコットキャラクター

琵琶湖に生息する固有種「ビワコオオナマズ」をモチーフにしたキャラクターです。



#### ■ キャットフィー

どんくさいわりにチャレンジ精神が旺盛で何事にも一生懸命。子ども好きで人を楽しませることが大好きです。



#### ■ チャットフィー

「キャットフィー」の幼なじみで、昔から仲の良い友達です。泳ぐことは得意ですが、陸のスポーツは少し苦手で「キャットフィー」に教えてもらっています。

「キャットフィー」と「チャットフィー」を合わせて「キャッチ」。人の心をキャッチする、という意味が込められています。

# 目 次

## あ い さ つ

第79回国民スポーツ大会会長 公益財団法人日本スポーツ協会会長	遠 藤 利 明	1
文部科学大臣	あ べ 俊 子	2
公益財団法人 全日本なぎなた連盟会長	久 保 素 子	3

## 歓 迎 の こ と ば

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会会長 滋賀県知事	三 日 月 大 造	4
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ彦根市実行委員会会長 彦根市長	田 島 一 成	5
滋賀県なぎなた連盟会長	森 田 充	6

国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程	7
国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程	8
大会役員	9
競技会役員	13
競技役員・競技補助員・競技会係員・競技会補助員	15
なぎなた競技実施要項	17
競技日程	21
演技競技組合せ表（少年女子）	23
試合競技組合せ表（少年女子）	24
演技競技組合せ表（成年女子）	25
試合競技組合せ表（成年女子）	26

式次第	27
なぎなた競技の見方	28
都道府県別参加人員一覧	32
参加監督・選手一覧（少年女子）	33
参加監督・選手一覧（成年女子）	38
栄光をたたえて（過去成績一覧）	43
彦根市の概要	48
競技会場配置図	49
なぎなた連盟事務局一覧	52
NO！スポハラ	53

## なぎなたの理念

なぎなたは、なぎなたの修錬により心身ともに調和のとれた人材を育成する。

## 指 導 方 針

なぎなたの正しい指導により、技を錬り、心を磨き、気力を高め体力を養うと共に、  
なぎなたの特性の中に生きる日本のすぐれた伝統を守り、規律に従い、礼譲を尊  
び、信義を重んじ、毅然として広く、平和な社会に役立つ人を養う。

（公益財団法人 全日本なぎなた連盟）



# あいさつ



公益財団法人日本スポーツ協会

会 長 遠 藤 利 明

約 400 万年の歴史を持つ日本最大で最古の湖である琵琶湖を中心に雄大な風景が広がり、古くから日本の文化や経済の先進地として栄えたここ滋賀県において、第 79 回国民スポーツ大会が開催されますことは、誠に喜ばしい限りです。

大会愛称である「わた SHIGA 輝く国スポ」のとおり、大会に関わる全ての方々が主役となり、光り輝くことができる大会となることを願っております。

スポーツは、目標に向かっての努力と達成感、そして観戦する人をワクワクさせ、楽しく、心を動かすものであるからこそ、人々を、社会を元気にする力を持ちます。

本年 6 月、14 年ぶりに改正されたスポーツ基本法では、スポーツを「する」「みる」「ささえる」に加え、「集まる」「つながる」として明示されています。

厳しい予選を勝ち抜き、郷土の代表として集まったアスリートの皆様には、フェアプレーを通じて友情を深め、つながり、スポーツが楽しいものであることを体現いただき、開催地の皆様とも交流を深め、全国にスポーツの力と滋賀県の魅力を発信する伝道者になっていただければ幸いです。

さて、昭和 21(1946)年にスタートした「国民体育大会」は、昨年「国民スポーツ大会」へ名称を変えて新たなスタートを切るなど、大きな変革期にあります。

日本スポーツ協会では、本年 3 月、「今後の国民スポーツ大会の在り方を考える有識者会議」から示された「提言」に基づき、国民の皆様がこれまで以上にワクワクし持続可能な魅力ある大会となるよう、様々な改革に取り組んでいくこととしています。

結びに、本大会の開催にあたり、長年諸準備にご尽力いただきました、地元滋賀県をはじめ関係の皆様方のご支援、ご協力に対し心から深く感謝申し上げます。

## あいさつ



文 部 科 学 大 臣

あ べ 俊 子

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここ滋賀県において第79回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」が盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

滋賀県は、日本最大の湖である「琵琶湖」、四季折々の表情を見せる「伊吹山」等、美しく彩りある豊かな自然の魅力にあふれ、世界文化遺産である「比叡山延暦寺」や国宝「彦根城」等、歴史と文化が息づく県です。

昭和56年のびわこ国体以来44年ぶりの滋賀県での開催となり、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに、県全域を舞台に熱戦が繰り広げられます。

また、本大会は、様々な場面で環境に配慮した取組を行い、スポーツの力を活用し、持続可能な社会づくりに貢献していく素晴らしい大会となっています。「わた SHIGA 輝く国スポ」が、国民に夢と感動、連帯感を共有できる大会、また、開催地である滋賀県の活性化に資する大会となりますことを心から願っております。

郷土の代表として参加される選手の皆さんが、これまで積み重ねてこられた練習の成果を思う存分発揮され、我が国の国際競技力の向上が図られるとともに、この機会に全国の仲間や滋賀県民の皆さんとの交流の輪を広げられ、思い出に残る大会となりますことを期待しております。

昨年度は、パリオリンピック・パラリンピック競技大会が、今年度は東京2025世界陸上競技選手権大会、第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025、ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、国民のスポーツへの関心はますます高まっているところです。

文部科学省としても、アスリートや子供たちの活動の機会を確保し、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、「わた SHIGA 輝く国スポ」の開催に当たり御尽力いただいた地元滋賀県、会場となる各市町をはじめとする関係の皆様のお支援、御協力に対し、心から敬意と感謝の意を表しまして、御挨拶いたします。

令和7年7月31日



## あ い さ つ

公益財団法人全日本なぎなた連盟

会 長 久 保 素 子

『第 79 回国民スポーツ大会 なぎなた競技会』が、我が国最大の湖である琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境や、古くから交通の要衝として栄えてきた歴史を有するとともに、先人が人と人、人と自然のつながりの中で育んできた文化が今も脈々と息づく、ここ滋賀県彦根市において開催されますことをお喜び申し上げます。

本大会は、「琵琶湖」を擁する湖国滋賀で生まれた感動が、本大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれるようにとの願いを込めた「湖国の感動 未来へつなぐ」のスローガンを掲げ、『わた SHIGA 輝く 国スポ 2025』の愛称は、選手、ボランティアをはじめ、県民、来場者など滋賀県で開催する大会に関わるすべての人が、様々な場面で主役として光り輝き、夢や感動、連帯感を共有できる大会となるように…と名づけられました。

さて、昨年度より「国民体育大会」から「国民スポーツ大会」と発展した本大会は、誰もが一層身近にスポーツを楽しむことができる環境をつくり、誰もがボランティアや大会関連行事等に積極的に参加できる環境をつくるなど、それぞれのスタイルで「する」「みる」「支える」の体験ができ、共生社会の実現に繋がるよう取り組む大会として今後さらなる進化が期待されるスポーツの祭典です。

本日お集まりの選手の皆さん一人ひとりが、この舞台を諦めざるを得なかった仲間の思いも重ね、家族や仲間と支え合い、高めてきた力を十分に発揮し、『輝き』を放たれますことを期待してやみません。素晴らしい技を展開し、見る人に感動を届けてください。

終わりに、本大会開催に賜りました関係各位のご支援、ご協力、加えて、すべての役員の方々の実施へのご尽力に厚く御礼申し上げ、ご挨拶といたします。



## 歓迎のことば

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会会長

滋賀県知事 三 日 月 大 造

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、全国から選手・役員の皆様をはじめ多くの方々をお迎えし、ここ滋賀県において「わた SHIGA 輝く国スポ」を開催できますことは、この上ない喜びであり、県民を代表して心から歓迎申し上げます。

また、本大会の開催にあたり多大な御支援と御協力を賜りました関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

本大会は、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに掲げ、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、すべての人が様々な場面で主役として光り輝くとともに、大会を通じて湖国滋賀で生まれた夢や感動、連帯感が、大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれることを目指しています。

大会における共生社会の実現に向けた取組や環境配慮の実践、さらには心のこもったおもてなしなど、長年培ってきた滋賀ならではの視点により、みんなが輝く大会にしてまいりたいと考えております。

本県は、我が国最大の湖である琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境や、古くから交通の要衝として栄えてきた歴史を有するとともに、先人が人と人、人と自然のつながりの中で育んできた文化が今も脈々と息づいています。是非、滋賀のリズムに触れていただき、心のリズムを整え、本県での滞在を楽しんでください。

選手の皆様方におかれましては、日頃の練習の成果を存分に発揮されますとともに、地域をこえた交流に触れ、本大会を思い出に残る素晴らしい大会にさせていただきたいと存じます。

結びに、本大会に関わる皆様の御健勝と御多幸を心から祈念申し上げ、歓迎のことばといたします。



## 歓迎のことば

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ彦根市実行委員会会長

彦根市長 田 島 一 成

「わた SHIGA 輝く国スポ」なぎなた競技会が、ここ彦根市において盛大に開催できますことを大変うれしく思いますとともに、全国各地からお越しいただきました選手、監督、関係者の皆様を、彦根市民を代表して心から歓迎申し上げます。

滋賀県における国スポ開催は、昭和 56 年の第 36 回国民体育大会「びわこ国体」以来、44 年ぶり 2 回目で、彦根市では初めての開催となるなぎなた競技を始め、5 つの正式競技を開催いたします。本市では、全国からお越しになる皆様を温かくお迎えし、滋賀県での国スポがいつまでも思い出に残る、心のこもった大会になるよう、市民と一体となって最大限のおもてなしができるよう努めてまいります。

出場される選手の皆様は、本大会への出場に向け、日々たゆまぬ努力と厳しい鍛錬に励んでこられたことと思いますが、皆様がその成果を十分に発揮され、記憶に残る熱戦が繰り広げられることを期待しております。

また、本市は、国宝彦根城をはじめとする歴史的な資産や琵琶湖畔の美しい景観など多くの観光資産を有するとともに、近江牛や湖魚、近江米などすばらしい食をご賞味いただけますので、皆様、是非、この機会に彦根をご堪能いただき、城下町の魅力を感じていただければ幸いです。

結びになりますが、本競技会の開催にあたりご尽力を賜りました関係者の皆様に、心より感謝を申し上げますとともに、選手の皆様のご活躍をご祈念申し上げ、歓迎のことばといたします。



## 歓迎のことば

滋賀県なぎなた連盟

会 長 森 田 充

この度は、第 79 回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」なぎなた競技のため、滋賀県彦根市へお越しいただき、誠にありがとうございます。

全国からお越しいただきました選手、監督、役員および関係者の皆様を心より歓迎申し上げます。

なぎなたは、力強さの中にも優雅さがあり、見る者を魅了する素晴らしい武道です。

また、彦根城築城 400 年以上の歴史を持つこの地で、日本の伝統武道であるなぎなたの真髄が披露されることに、深い感慨を覚えます。

選手の皆様にはこの大会を通じてお互いに研鑽し合い、友情を深め、次の世代へのその精神を受け継いでくださることを願っております。

彦根市は、国宝彦根城をはじめ、琵琶湖の美しい自然、そして井伊直弼公ゆかりの地として知られています。競技の合間には、ぜひ彦根の歴史や文化に触れていただき、思い出に残るひとときをお過ごしいただければ幸いです。

終わりに、本大会の開催にあたり、多大なるご協力とご努力をいただきました多くの皆様、大会運営にご支援いただきましたすべての皆様に感謝申し上げますとともに、選手の皆様のご健闘を心より祈念して歓迎のことばといたします。





天皇杯

皇后杯

### 国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程

- 第1条 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、天皇杯は、男女総合成績第1位の都道府県、皇后杯は、女子総合成績第1位の都道府県に授与する。
- 2 第1位が2都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第2条 天皇杯及び皇后杯は、総合閉会式に授与し、次回の総合開会式において返還する。

- 第3条 天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。
- (1) 信託会社又は確実な金庫に保管する。
  - (2) 破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。
  - (3) 公益財団法人日本スポーツ協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第4条 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附 則 本規程は、昭和41年4月1日制定  
昭和45年1月22日一部改定  
昭和48年7月10日一部改定  
昭和54年5月9日一部改定  
平成17年6月16日一部改定  
平成22年3月17日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年4月1日）から施行する。

平成30年4月1日一部改定  
令和6年1月1日一部改定





大会会長トロフィー

## 国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程

第1条 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、国民スポーツ大会会長トロフィー(以下「大会会長トロフィー」という。)は、正式競技別男女総合成績第1位の都道府県に授与する。

2 第1位が2都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第2条 大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回競技会において返還する。

第3条 大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

- (1) 責任をもって保管する。
- (2) 破損、紛失等の場合は当該都道府県の責任とする。
- (3) 優勝の刻印を次回大会までに行なうものとする。ただし、第1条第2項の場合は、当該都道府県で協議して決めるものとする。
- (4) 公益財団法人日本スポーツ協会が必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第4条 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附 則 本規程は、昭和41年4月1日制定

昭和45年1月22日一部改定

昭和48年7月10日一部改定

昭和54年5月9日一部改定

平成17年6月16日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日(平成23年4月1日)から施行する。

平成30年4月1日一部改定

令和6年1月1日一部改定

# 大会役員

2025年7月31日現在  
(順不同・敬称略)

名誉会長	あべ 俊子			
会長	遠藤 利明			
副会長	益子 直美	田中 不二夫	三宮 恵利子	森岡 裕策
	室伏 広治	三日月 大造	河本 英典	
顧問	伊藤 雅俊	森 喜朗	橋本 聖子	安西 孝之
	岡崎 助一	越川 均	坂元 要	勝田 隆
	室伏 由佳	村松 さやか	湯川 和之	植田 実
	櫻井 由香	鹿島 丈博	吉岡 成子	石井 砂織
	笠師 久美子	飯塚 悟	久保 正美	浦 美奈子
	木平 芳定	中嶋 実	小寺 洋	桐木 陽子
	旗生 康之	池田 めぐみ	工藤 保子	久保 直生
	藤田 裕司	藤原 誠	室城 信之	金子 日出澄
	貝瀬 智洋	森 晃	土橋 登志久	石丸 元国
	多氣 洋平	井崎 洋志	鬼頭 有紀子	長谷川 洋子
	吉田 長寿	齋木 尚子	多賀 恒雄	安藤 淳
	上治 丈太郎	湧永 寛仁	上原 絵美	佐藤 健司
	馬場 美香	山口 宏	南 和文	宮永 美寿津
	千田 健一	中里 壮也	岡本 友章	大野 淳
	加藤 出	田村 恒彦	蒔田 実	山崎 勝洋
	浅見 敬子	山口 徹正	田中 伸周	村田 利衛
	建部 彰弘	市野 保己	丸石 博	中村 ゆり子
	齋藤 良太郎	谷田部 和彦	木村 博美	井上 弘
	今川 啓一	近藤 重和	池谷 正成	大澤 明美
	古城 資久	小野 賢二	園山 和夫	中山 俊行
	田中 徹	知念 かおる	出口 弘之	田邊 哲人
	城門 政文	前川 恵	上杉 晃央	布村 幸彦
	茂野 直久	生島 典明	大沢 陽子	谷藤 節雄
	熊谷 幸一	千葉 玲佳	奥山 雅信	酒井 祐一
	藤田 知巳	北條 俊明	田子 昌之	新井 彰
	山崎 成夫	塩見 清仁	田名部 高雄	井出 仁
	今西 博一	中村 宏平	松本 智広	森山 喜博
	南部 則雄	福永 秀樹	高橋 繁浩	山本 健次
	増田 和伯	猪飼 敏之	山本 誠三	松本 恭幸
	船田 一彦	奥田 晃	横尾 英治	小西 慎太郎

近 藤 一 幸	堂 本 ひさ美	河 村 祐 一	渡 邊 浩 三
田 中 稔	馬 越 祐 希	青 木 章 泰	城 戸 英 敏
藤 本 武	小 柳 勝 彦	辛 木 秀 子	宮 成 康 蔵
藤 本 格	岩 元 幸 成	平 良 朝 治	藤 原 正 樹
大河原 嘉 朗	川 上 隆 弘	佐 藤 廣 子	奈 良 隆
小 菅 司	宇津木 妙 子	菊 幸 一	小 林 久 美
寺 澤 正 孝	山 口 純 子	武 部 新	野 中 厚
金 城 泰 邦	赤 松 健	増 子 宏	矢 野 和 彦
茂 里 毅	浅 野 敦 行	有 村 治 子	上 野 賢一郎
大 岡 敏 孝	嘉 田 由紀子	北 野 裕 子	小 寺 裕 雄
こやり 隆 史	斎藤 アレックス	武 村 展 英	宮 本 和 宏
目 片 信 悟	村 井 泰 彦	北 村 嘉 英	小 椋 正 清
伊 藤 定 勉	草 野 聖 地	杉 浦 和 人	永 浜 明 子
有 森 裕 子	鈴 木 大 地	宮 本 恒 靖	深 澤 祐 二
坂 田 東 一	三 須 和 泰	仲 間 達 也	川 合 俊 一
藤 田 直 志	三 屋 裕 子	富 山 英 明	馬 場 益 弘
砂 岡 良 治	金 丸 恭 文	安 道 光 二	河 田 正 也
豊 田 章 男	千 玄 室	中 村 真 一	牧 島 かれん
村 井 満	永 谷 喜一郎	真 砂 威	土 田 雅 人
町 田 幸 男	大 野 正 次	世 耕 弘 成	笹 川 善 弘
番 匠 幸一郎	久 保 素 子	丹 羽 秀 樹	岩 城 光 英
寶 馨	荒 川 裕 生	小 谷 知 也	達 増 拓 也
鶴 田 有 司	吉 村 美栄子	北 村 清 士	大井川 和 彦
福 田 富 一	遠 藤 祐 司	大 野 元 裕	熊 谷 俊 人
山 本 博	岡 田 伸 浩	花 角 英 世	新 田 八 朗
馳 浩	杉 本 達 治	高 野 剛	阿 部 守 一
田 口 義 隆	中 谷 多加二	大 村 秀 章	伊 藤 歳 恭
西 脇 隆 俊	高 橋 知 史	齋 藤 元 彦	池 田 誠 也
宮 崎 泉	林 昭 男	丸 山 達 也	越 宗 孝 昌
苅 田 知 英	村 岡 嗣 政	後藤田 正 純	楨 田 實
大 塚 岩 男	服 部 誠太郎	山 口 祥 義	大 石 賢 吾
甲 斐 隆 博	麻 生 益 直	日 隈 俊 郎	塩 田 康 一
玉 城 デニー			

参 与

糴井圭子  
 井狩辰也  
 小川泰江  
 河井昭成  
 九里学  
 重田剛  
 清水ひとみ  
 田中英樹  
 谷口典隆  
 中山和行  
 村上元庸  
 岸本織江  
 塚本晃弘  
 東郷寛彦  
 奥山光一  
 白井稔  
 小林雅史  
 佐藤健司  
 橋川涉  
 櫻本直樹  
 堀江和博  
 久保久良  
 高橋祥二郎  
 熊倉正志  
 山本博一  
 杉原真也  
 一圓泰成  
 高橋健太郎  
 上村照代  
 赤井弘和  
 山本浩  
 岩田史昭  
 松永敬子  
 菅原哲朗  
 山澤文裕  
 熊谷利彦  
 江橋千晴  
 青木克憲

大杉住子  
 今江政彦  
 奥村芳正  
 川島隆二  
 桑野仁  
 柴田栄一  
 白井幸則  
 田中誠  
 富波義明  
 野田武宏  
 木沢成人  
 土井真一  
 森和之  
 中村守  
 岡田暁人  
 藤原久美子  
 池内久晃  
 田島一成  
 森中高史  
 松浦加代子  
 西田秀治  
 藤田善久  
 市田良夫  
 涌井努  
 寺村義伸  
 竹林幸祥  
 石井太  
 草野とし子  
 富長弘宣  
 大西孝雄  
 田中秀和  
 稲垣公雄  
 田崎博道  
 吉田崇  
 佐橋誠  
 加藤弘和  
 安井和治

赤井康彦  
 岩崎和也  
 海東英和  
 河村浩史  
 駒井千代  
 柴田清行  
 周防清二  
 田中松太郎  
 中川雅史  
 節木三千代  
 森重重則  
 窪田知子  
 園田三恵  
 中村達也  
 中田佳恵  
 正木隆義  
 原陽一  
 浅見宣義  
 竹村健  
 今城克啓  
 有村国知  
 甲津和寿  
 藤堂寛  
 岸智昭  
 金澤博文  
 山田貴司  
 川戸良幸  
 三木恒治  
 佐野智哉  
 崎山美智子  
 辻睦弘  
 笠野英弘  
 松田基子  
 出崎和夫  
 田内慎也  
 小澤大樹  
 西島義典

有村國俊  
 小河文人  
 加藤誠一  
 桐田真人  
 佐口佳恵  
 清水鉄次  
 菅沼利紀  
 谷成隆  
 中沢啓子  
 本田秀樹  
 東勝  
 野村早苗  
 松田千春  
 山田忠利  
 伊吹信人  
 保田誠  
 北川純二  
 小西理貴  
 岩永裕貴  
 角田航也  
 寺本純二  
 堤清司  
 野村昌弘  
 武田英明  
 山本順  
 上西保  
 田畑太郎  
 市川忠稔  
 太田千恵子  
 加藤光国  
 三ヶ田礼一  
 宇野武次  
 山下栄之  
 佐野博之

委 員 長  
 副委員長  
 総務委員

委 員

平野 了  
松本 康夫  
渡邊 圭太郎  
寺澤 淳  
中梶 秀則  
鈴木 章広  
田口 大祐  
菅原 正幸  
渡辺 久雄  
井本 亘  
吉田 由美子  
金子 和裕  
政岡 航大  
寺垣 佑介  
南野 芳広  
門 久仁裕  
加藤 雄樹  
太田 真美  
金田 貴人  
村松 達也  
杉浦 美紀  
高橋 健二  
松本 守正  
久次米 和成  
笠井 康行  
吉野 賢一郎  
高野 瑞洋  
須藤 勇司  
東瀬 義人  
井上 哲  
竹内 俊勝  
寺崎 雅巳  
渡嘉敷 通之

高橋 聖一  
福士 幸洋  
佐久間 裕司  
黒川 重男  
安藤 正美  
川口 巖  
平井 宏治  
高橋 昇  
三井 千壽  
関根 明子  
杉本 好二  
野口 友里  
坊 百花  
田中 遥大  
池本 佳子  
清水 直子  
鈴木 敦  
高野 正規  
新保 暢  
井澤 克行  
藤田 隆司  
吉村 宗浩  
松本 綾子  
高田 孝行  
尾鷲 一成  
横山 美和  
遠藤 信哉  
角田 真司  
酒井 雅洋  
今後 元彦  
松井 守  
荒木 健治  
綾部 吉也

吉村 政弘  
栗原 崇  
品田 奥義  
舟喜 信生  
加藤 憲二  
和田 潔  
岸川 剛之  
長南 哲生  
鈴木 信吾  
中山 二三男  
東野 眞理子  
品治 恵子  
小河原 百映  
宇高 章広  
横江 弘昭  
高井 和紀  
瀬谷 尚男  
岩埜 直史  
戒田 由香里  
林 剛史  
曾我 学  
中嶋 純也  
田口 新也  
辻岡 英幸  
松山 度良  
山元 尚史  
千葉 雅也  
柄澤 宏之  
碓井 稔  
沼田 守弘  
吉岡 直彦  
平江 公一

若月 等  
細野 光史  
濱野 勉  
高野 修  
宮川 良輔  
岡泉 茂  
西原 斗司男  
衛藤 敬輔  
山中 博史  
越前 浩司  
川口 雅三  
富澤 佑也  
田口 雅紀  
近藤 潤  
沼波 輝  
見田 茂紀  
大貫 大輔  
深谷 祐紀  
児玉 晶香  
稲葉 晴伸  
木原 哲也  
前田 康博  
河口 英史  
前田 義朗  
濱本 昌宏  
宮城 直人  
菅間 裕晃  
竹内 延和  
武田 知巳  
田部 長右衛門  
刈谷 好孝  
黒木 淳一郎

# 競 技 会 役 員

(順不同・敬称略)

名 誉 会 長	田 島 一 成				
会 長	久 保 素 子				
副 会 長	樋 口 修	三 井 千 壽	中 浩 司	森 田 充	
	松 宮 智 之	小 田 柿 幸 男			
顧 問	谷 口 克 美	柳 生 耕 一	木 村 恭 子	佐 藤 浩 市	
	橋 本 久 美 子	畠 瀬 美 佐 子	森 知 高	中 村 ゆ り 子	
	吉 井 美 惠 子	田 室 美 知 子	富 山 明 吉	津 島 淳	
	春日 川 寛 治	鈴 木 照 子	住 谷 達	佐 藤 孝 子	
	矢 澤 良 伸	岡 田 広	實 島 範 朗	中 曾 根 弘 文	
	帆 足 光 代 彦	小 野 恭 子	磯 部 篤	長 瀬 弘	
	上 田 文 彦	佐 藤 敬 蔵	大 丸 浩 二	田 中 幹 夫	
	稲 村 由 紀 子	渡 辺 大 輔	牧 野 京 夫	江 崎 鐵 磨	
	工 藤 隆	近 藤 登	榊 田 恭 子	廣 瀬 恭 子	
	佐 見 津 和 彦	福 田 啓 子	濱 口 太 史	八 幡 久 美 子	
	水 谷 厚 志	佐 々 木 裕 子	宮 本 博 子	友 広 巖	
	梶 正 司	原 徹 臣	広 田 一	佐 田 正 二 郎	
	篠 塚 周 城	友 田 吉 泰	伊 豆 英 一	上 野 公 則	
	佐 々 木 逸 夫	眞 田 俊	上 地 幸 市	和 田 一 繁	
参 与	西 嶋 良 年	金 子 隆 昭	岸 田 清 次		
	黒 川 久 子	黒 星 敦 子	荻 原 晴 子	小 澤 多 喜 子	
	角 薫	田 中 美 智 代	東 美 智 子	大 野 京 子	
	一 川 治 子	酒 井 千 波	竹 葉 理 生 子	榎 戸 二 三 枝	
	稲 岡 和 子	藤 井 靖 子	井 上 彌 子	小 林 み ち 江	
	谷 本 良 子	中 川 睦 子	角 井 英 明	八 橋 龍 二	
	堀 口 達 也	中 野 正 剛	上 杉 正 敏	北 川 元 氣	
	辻 眞 理 子	森 野 克 彦	矢 吹 安 子	小 川 吉 則	
	黒 澤 茂 樹	足 田 菜 穂 子	伊 藤 容 子	奥 野 嘉 己	
	安 澤 勝	野 村 博 雄	戸 崎 克 司	馬 場 和 子	
	長 崎 任 男	林 利 幸	小 川 隆 史	永 濱 隆	
	小 松 照 明	本 田 啓 子	田 附 孝 子	近 藤 弘 明	
	足 田 元 伯	牛 澤 淳	奥 村 揮 一	野 島 英 樹	
	綾 木 陽 一	大 久 保 裕 次	前 川 昌 敏	山 岸 将 郎	
	稲 野 善 行 人	關 谷 眞 治 之	古 川 雅 之 雄	木 村 康 介	
	馬 場 敬 久 喜	速 田 智 真 資	大 橋 茂 雅 穂	武 山 智 昭 彦	
	小 島	梅 村 真	平 野 雅 穂	吉 永 富 彦	

参 与          委 員 長 副 委 員 長 委 員	沼 田 淳			古 谷 英 生			川 瀬 安 希 子			大 久 保 貴 生		
	中 村 傳 一 郎			寺 崎 政 子			小 林 正 人			木 村 輝 男		
	高 橋 伊 三 男			安 居 伸 義			阪 東 実			山 内 徹 好		
	笥 美 貴			獅 子 堂 秀 雄			吉 嶋 幸 子			中 川 裕 子		
	磯 谷 直 一			西 田 信 子			木 村 昌 弘			田 井 中 徹		
	大 塚 恵 昭			大 橋 政 次 郎			中 野 喜 一			藤 井 高 明		
	辻 裕			沼 尾 護			久 保 田 郁 夫			柳 本 上 司		
	北 村 源 和			伊 藤 雅 彦			山 田 雅 崇					
	福 岡 知 子											
	吉 田 伸 子			宮 永 幹 雄								
委 員	関 祐 介			德 地 昌 代			中 段 亜 由 美			天 川 彰 子		
	音 成 桂 子			佐 藤 聖 子			佐 藤 佑 介			紫 関 讓 子		
	高 田 成 美			高 橋 登 子			田 中 ひ かる			野 津 有 生 子		
	濱 岡 紀 久 子			久 光 重 宏 子			平 池 徳 見			増 田 桂 子		
	松 井 亮 子			宮 森 洋 子			与 語 美 恵			吉 井 和 代		
	打 谷 桂 子											



# 競 技 役 員

(順不同・敬称略)

役職名	人数	第1試合場	第2試合場
		氏 名	氏 名
総 務 委 員 長	1	中段 亜由美	
総 務 副 委 員 長	1	北村 由美子	
総 務 委 員	15	今浦 千信 古川 訓子 仁田原 ひとみ 源川 操	橋口 裕子 西本 治美 福島 真沙美 本多 沙希 田中 智美 谷村 浩子 仲上 文子 岩村 由美 寺崎 政子 安仲 為久子 三浦 三智代
審 判 長	1	堀田 和美	
コート審判主任	2	廣瀬 幸子 我山 千枝子	
審 判 員	18	高橋 登子 松井 亮子 紫関 譲子 佐々木 晶子 大東 智美	島名 きよみ 梅原 敬子 吉井 和代 山本 千代 西岡 政英 鈴木 亘 濱岡 紀久子 与語 美恵 廣岡 奈緒美 嶋田 信子 黒川 依子 島崎 智絵 尾形 美和
競 技 委 員 長	1	高村 さやか	
競 技 副 委 員 長	1	見世 真弓美	
選 手 委 員 主 任	2	村岡 夏美	沓水 真由美
選 手 委 員	16	村上 幸 前田 あかね 井口 みどり 川村 愛美	佐藤 伊紀 杉原 祥浩 堤 咲織 高原 紀子 杉田 美貴 日鷹 登紀子 大倉 直子 久米 康之 山中 幸枝 新谷 郁美 吉良 幸 岡田 一行
時 計 委 員 主 任	2	諸川 里江	諸川 穰
時 計 委 員	4	佐々木 治郎 野 雄大	吉田 弥生 香西 修造
記 録 委 員 主 任	2	上田 洋子	西野 仁美
記 録 委 員	6	八木 浄子 森川 楓花	吉富 美津江 山橋 順子 明神 日出子 北村 幸子
採点揭示委員主任	2	高田 令子	北村 みどり
採 点 掲 示 委 員	13	阿江 智恵 前田 あさな 浅見 菜々子	竹内 朱美 佐藤 翔一 松田 佐知子 坂田 純子 江畑 勝 青池 玖瑠美 吉田 みゆき 谷本 綾子 岡野 汐夏 大野 藍里

## 競 技 役 員

(順不同・敬称略)

役職名	人数	第1試合場	第2試合場
		氏 名	氏 名
計量用具委員主任	1	北村 直久	
計 量 用 具 委 員	10	鴨下 愛梨      北村 麻理子      井上 喜史      碓井 静子 鶴田 安美      野上 恵美子      山本 陽子      奥居 玲子 西倉 智子      森本 康枝	
放 送 委 員 主 任	1	天川 彰子	
放 送 委 員	2	小川 睦      北村 夕香	
速 報 委 員 主 任	1	高田 裕衣子	
速 報 委 員	4	北村 貴則      北村 智美      小南 志歩      北村 みのり	
報 道 委 員 主 任	1	樋田 崇史	
報 道 委 員	1	伊藤 朋子	
総合成績計算委員主任	1	青柳 久美子	
総合成績計算委員	1	青柳 茜	
送受信委員主任	1	神細工 悦子	
送 受 信 委 員	1	村田 朋美	

## 競技補助員

総 務 補 助 員	滋賀県立彦根東高等学校 滋賀県立河瀬高等学校 滋賀県立彦根翔西館高等学校 近江高等学校
選 手 補 助 員	
記 録 補 助 員	
採点揭示補助員	
速 報 補 助 員	

## 競技会係員・競技会補助員

競 技 会 係 員	彦根市職員
競 技 会 補 助 員	運営ボランティア一同

# 実 施 要 項

## 1 期 日 2025 年 9 月 29 日（月）から 10 月 1 日（水）まで（3 日間）

種 別	種目	時間	9 月 29 日（月）	9 月 30 日（火）	10 月 1 日（水）
成年女子	演技	午前		1 ・ 2 ・ 3 回 戦 準 々 決 勝 戦 順位決定予備戦 5 ～ 8 位 決定戦 準 決 勝 戦 3 位 決 定 戦 決 勝 戦	
	試合	午前			3 回 戦 準 々 決 勝 戦 順位決定予備戦 5 ～ 8 位 決定戦 準 決 勝 戦 3 位 決 定 戦 決 勝 戦
		午後		1 ・ 2 回 戦	
少年女子	演技	午前	1 ・ 2 ・ 3 回 戦 準 々 決 勝 戦 順位決定予備戦 5 ～ 8 位 決定戦 準 決 勝 戦 3 位 決 定 戦 決 勝 戦		
	試合	午前		準 決 勝 戦 3 位 決 定 戦 決 勝 戦	
		午後	1 ・ 2 回 戦 準 々 決 勝 戦 順位決定予備戦 5 ～ 8 位 決定戦		

## 2 会 場 彦根市 パナソニック株式会社くらしアプライアンス社彦根工場多目的ホール

## 3 種別（種目）及び参加人員

種別・種目		監 督	選 手	参加都道府県	小 計	合計（人）
成年女子		1	3	47	188	314
少年女子	演技・試合		3	32	96	
	演 技 の み		2	15	30	

（注） 監督は、各都道府県 1 名とし、選手を兼ねることはできない。

#### 4 競技上の規程及び方法

##### (1) 競技規定及び審判員

ア 公益財団法人全日本なぎなた連盟競技規定並びに審判規定による。

イ 各種別の選手編成は、1チーム3名とする。ただし、少年女子において演技選手のみの場合は、1チーム2名とする。試合選手は先鋒・中堅・大将、演技選手はしかけ・応じをそれぞれ構成する。

ウ 審判員は、公益財団法人全日本なぎなた連盟において選出する。

##### (2) 競技方法

ア 試合・演技ともトーナメント方式とし、第1位から第8位までを決定する。

イ 試合 試合時間は3分。勝敗が決しない場合は延長戦を行う。延長時間は2分、延長1回で勝敗が決しない場合は、審判員の判定とする。

ウ 演技 各種別、指定された「しかけ・応じ」3本を旗形式により行う。

(成年女子は2本目・4本目・7本目、少年女子は2本目・3本目・5本目)

#### 5 予選方法

総則17の定めによるほか、次による。

##### (1) 成年女子

ア 各都道府県の予選会は、2025年8月24日（日）までに終了すること。

イ 報告

(ア) 予選会の実施期日が決定した場合には、所定の用紙により2025年6月20日（金）までに公益財団法人全日本なぎなた連盟宛に報告すること。

(イ) 予選会の結果については、速やかに所定の要領により2025年8月27日（水）までに公益財団法人全日本なぎなた連盟宛に報告すること。

##### (2) 少年女子

ア 各ブロック大会は、2025年8月24日（日）までに終了すること。

イ 報告

(ア) ブロック大会主管連盟は、実施要項を2025年4月18日（金）までに公益財団法人全日本なぎなた連盟宛に報告すること。

(イ) 各都道府県は予選会の結果を所定の要領により、各ブロック大会開催前に公益財団法人全日本なぎなた連盟宛に報告すること。

(ウ) ブロック大会主管連盟は、結果について速やかに所定の要領により2025年8月27日（水）までに公益財団法人全日本なぎなた連盟宛に報告すること。

ブロック名	都 道 府 県 名	成年 女子	少年女子	
			演技	試合
北海道	北海道	1	1	1
東 北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	6	6	4
関 東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	8	8	5
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	5	5	3
東 海	静岡、愛知、三重、岐阜	4	4	3
近 畿	京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	5	5	4
中 国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	5	5	3
四 国	香川、徳島、愛媛、高知	4	4	3
九 州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	8	8	5
開催県	滋賀	1	1	1
計		47	47	32

## 6 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則 5 に定めるもののほか、次による。

監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認なぎなたコーチ 1、公認なぎなたコーチ 2、公認なぎなたコーチ 3、公認なぎなたコーチ 4 のいずれかの資格を有する者とする。

## 7 総合成績決定方法

総合成績（天皇杯得点、皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に順位を決定する。ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

### (1) 競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競 技 得 点
成 年 女 子 少 年 女 子	成 年 女 子 少 年 女 子	各種目とも、1 位 24 点、2 位 21 点、3 位 18 点、4 位 15 点、5 位 12 点、6 位 9 点、7 位 6 点、8 位 3 点の競技得点を与える。

### (2) 参加得点

大会に参加した都道府県に 10 点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

## 8 表 彰

- (1) 総合成績第 1 位から第 8 位までの都道府県に、表彰状を授与する。
- (2) 総合成績第 1 位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。
- (3) 各種目の第 1 位から第 8 位までに、賞状を授与する。

## 9 参加申込み方法

総則 8 に定めるもののほか、次による。

- (1) 所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を入力の上、所属都道府県スポーツ協会を通じて、2025 年 9 月 4 日（木）までに申込み手続きを完了すること。
- (2) 締切期限以降は、所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。
- (3) 参加申込み締切後の監督・選手の交代は、特別な事情の場合のみ認めるものとし、その取り扱いについては、下記宛に所定の様式にて届け出なければならない。

ただし、交代する選手は都道府県予選会に参加した選手に限り認めるが、試合・演技とも構成の変更は認めず、その欠如したところに出場させること。

ア 提出期日 2025 年 9 月 28 日（日）午後 3 時

イ 提出先

- (ア) 〒664-0851 兵庫県伊丹市中央一丁目 6 番 19 号 5 階  
公益財団法人全日本なぎなた連盟  
TEL 072-775-2838 FAX 072-772-2062

- (イ) 〒520-0807 滋賀県大津市松本一丁目2番1号  
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局  
(滋賀県国スポ・障スポ大会局 競技運営室 競技第一係)  
TEL 077-528-3324 FAX 077-528-4836  
メール kokusupo-sanka@pref.shiga.lg.jp
- (ウ) 〒522-8501 滋賀県彦根市元町4番2号  
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ彦根市実行委員会事務局  
(彦根市スポーツ部 国スポ・障スポ競技課)  
TEL 0749-30-6155 FAX 0749-23-2660  
メール naginata2025@ma.city.hikone.shiga.jp

なお、(イ)(ウ)については、原則メールにて提出とする。また、公益財団法人日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、別途、所定の手続きにより参加申込み情報を修正すること。

## 10 参加上の注意

- (1) 試合選手は、垂れにゼッケン（黒地または紺地）をつける。ゼッケンの上部に白字で都道府県名（横書き）、中央に姓（縦書き）を明記する。
- (2) 演技選手は、稽古着左胸に横8cm、縦13cmの白布に黒字で都道府県名（横書き）、中央に姓（縦書き）を明記したゼッケンをつける。
- (3) 試合・演技とも、選手の資格による構成は自由とする。

## 11 その他

- (1) 組合せ抽選会  
日 時 2025年9月6日（土） 午後1時  
場 所 公益財団法人全日本なぎなた連盟事務局  
〒664-0851 兵庫県伊丹市中央一丁目6番19号 5階  
TEL 072-775-2838 FAX 072-772-2062
- (2) 用具検定  
日 時 2025年9月28日（日） 午後3時  
場 所 パナソニック株式会社くらしアプライアンス社彦根工場 用具検定所  
〒522-0037 滋賀県彦根市岡町33番地
- (3) 監督会議  
日 時 2025年9月28日（日） 午後3時  
場 所 パナソニック株式会社くらしアプライアンス社彦根工場 会議室  
〒522-0037 滋賀県彦根市岡町33番地
- (4) 審判会議  
日 時 2025年9月28日（日） 午後4時10分  
場 所 パナソニック株式会社くらしアプライアンス社彦根工場 審判員控室  
〒522-0037 滋賀県彦根市岡町33番地
- (5) 総合表彰式  
日 時 2025年10月1日（水） 午後0時40分  
場 所 パナソニック株式会社くらしアプライアンス社彦根工場 多目的ホール  
〒522-0037 滋賀県彦根市岡町33番地

# [34] なぎなた競技

彦根市

## 競技日程

会場：パナソニック株式会社くらしアプライアンス社彦根工場多目的ホール

監督会議	9月28日（日）15:00～16:00	パナソニック株式会社くらしアプライアンス社彦根工場 会議室
審判会議	9月28日（日）16:10～17:00	パナソニック株式会社くらしアプライアンス社彦根工場 審判員控室
オープニングプログラム	9月29日（月）9:20～9:50	パナソニック株式会社くらしアプライアンス社彦根工場 多目的ホール

1 日 目 9 月 29 日 (月)	【少年女子】 演技競技 (47都道府県参加)		
	第1試合場	競技	第2試合場
	10:20～10:41 (7試合)	1 回 戦 (15試合)	10:20～10:44 (8試合)
	10:41～11:05 (8試合)	2 回 戦 (16試合)	10:44～11:08 (8試合)
	11:15～11:27 (4試合)	3 回 戦 (8試合)	11:15～11:27 (4試合)
	11:28～11:34 (2試合)	準々決勝戦 (4試合)	11:28～11:34 (2試合)
	11:35～11:38 (1試合)	順位決定予備戦 (2試合)	11:35～11:38 (1試合)
	11:39～11:42 (1試合)	5位・7位決定戦 (2試合)	11:39～11:42 (1試合)
	11:43～11:46 (1試合)	準決勝戦 (2試合)	11:43～11:46 (1試合)
	—	3位決定戦 (1試合)	11:47～11:50 (1試合)
	11:50～11:53 (1試合)	決勝戦 (1試合)	—
	昼食 (11:53～12:50)		
	【少年女子】 試合競技 (32都道府県参加)		
	12:50～14:50 (8試合)	1 回 戦 (16試合)	12:50～14:50 (8試合)
	14:50～15:50 (4試合)	2 回 戦 (8試合)	14:50～15:50 (4試合)
	15:53～16:23 (2試合)	準々決勝戦 (4試合)	15:53～16:23 (2試合)
	16:26～16:41 (1試合)	順位決定予備戦 (2試合)	16:26～16:41 (1試合)
	16:44～16:59 (1試合)	5位・7位決定戦 (2試合)	16:44～16:59 (1試合)



## 競 技 日 程

2 日 目 9 月 30 日 (火)	【 少 年 女 子 】 試 合 競 技 (準決勝・3位決定戦・決勝戦)		
	第 1 試 合 場	競 技	第 2 試 合 場
	9:00 ～ 9:15 ( 1 試合 )	準 決 勝 戦 ( 2 試合 )	9:00 ～ 9:15 ( 1 試合 )
	—	3 位 決 定 戦 ( 1 試合 )	9:18 ～ 9:33 ( 1 試合 )
	9:33 ～ 9:48 ( 1 試合 )	決 勝 戦 ( 1 試合 )	—
	【 成 年 女 子 】 演 技 競 技 ( 47都道府県参加 )		
	10:00 ～ 10:21 ( 7 試合 )	1 回 戦 ( 15試合 )	10:00 ～ 10:24 ( 8 試合 )
	10:21 ～ 10:45 ( 8 試合 )	2 回 戦 ( 16試合 )	10:24 ～ 10:48 ( 8 試合 )
	10:55 ～ 11:07 ( 4 試合 )	3 回 戦 ( 8 試合 )	10:55 ～ 11:07 ( 4 試合 )
	11:08 ～ 11:14 ( 2 試合 )	準 々 決 勝 戦 ( 4 試合 )	11:08 ～ 11:14 ( 2 試合 )
	11:15 ～ 11:18 ( 1 試合 )	順 位 決 定 予 備 戦 ( 2 試合 )	11:15 ～ 11:18 ( 1 試合 )
	11:19 ～ 11:22 ( 1 試合 )	5 位 ・ 7 位 決 定 戦 ( 2 試合 )	11:19 ～ 11:22 ( 1 試合 )
	11:23 ～ 11:26 ( 1 試合 )	準 決 勝 戦 ( 2 試合 )	11:23 ～ 11:26 ( 1 試合 )
	—	3 位 決 定 戦 ( 1 試合 )	11:27 ～ 11:30 ( 1 試合 )
	11:30 ～ 11:33 ( 1 試合 )	決 勝 戦 ( 1 試合 )	—
	少年女子表彰式 ( 11:50 ～ 12:15 )		
	昼 食 ( 12:15 ～ 13:00 )		
	【 成 年 女 子 】 試 合 競 技 ( 47都道府県参加 )		
	13:00 ～ 14:45 ( 7 試合 )	1 回 戦 ( 15試合 )	13:00 ～ 15:00 ( 8 試合 )
	14:45 ～ 16:45 ( 8 試合 )	2 回 戦 ( 16試合 )	15:00 ～ 17:00 ( 8 試合 )

3 日 目 10 月 1 日 (水)	【 成 年 女 子 】 試 合 競 技 ( 3回戦 ～ 決勝戦 )		
	第 1 試 合 場	競 技	第 2 試 合 場
	9:00 ～ 10:00 ( 4 試合 )	3 回 戦 ( 8 試合 )	9:00 ～ 10:00 ( 4 試合 )
	10:03 ～ 10:33 ( 2 試合 )	準 々 決 勝 戦 ( 4 試合 )	10:03 ～ 10:33 ( 2 試合 )
	10:36 ～ 10:51 ( 1 試合 )	順 位 決 定 予 備 戦 ( 2 試合 )	10:36 ～ 10:51 ( 1 試合 )
	10:54 ～ 11:09 ( 1 試合 )	5 位 ・ 7 位 決 定 戦 ( 2 試合 )	10:54 ～ 11:09 ( 1 試合 )
	11:10 ～ 11:25 ( 1 試合 )	準 決 勝 戦 ( 2 試合 )	11:10 ～ 11:25 ( 1 試合 )
	—	3 位 決 定 戦 ( 1 試合 )	11:28 ～ 11:43 ( 1 試合 )
	11:43 ～ 11:58 ( 1 試合 )	決 勝 戦 ( 1 試合 )	—
	成年女子表彰式 総 合 表 彰 式 ( 12:40 ～ 13:20 )		

# なぎなた競技 組合せ表

## 【 少 年 女 子 】 < 演 技 競 技 >

都道府県名		9月29日（月）											都道府県名																									
		1 回戦	2 回戦	3 回戦	準々決勝	準決勝	決勝	準決勝	準々決勝	3 回戦	2 回戦	1 回戦																										
(第 1 試合場)														(第 2 試合場)																								
鳥 取 県	1	1-8												2-9												24 宮 城 県												
山 口 県	2																									2-17												25 福 岡 県
鹿児島県	3																																					2-10
新潟 県	4	1-16												27 富 山 県																								
高 知 県	5													1-9												28 沖 縄 県												
熊本 県	6																									1-20												29 神 奈 川 県
宮 崎 県	7	1-10																																				30 福 島 県
愛 知 県	8													1-2																								31 岐 阜 県
静岡 県	9																									1-17												32 栃 木 県
三 重 県	10	1-3																																				33 長 野 県
島 根 県	11													1-11																								34 山 形 県
佐 賀 県	12																									1-12												35 愛 媛 県
群 馬 県	13	1-4																																				36 東 京 都
青 森 県	14													1-18																								37 奈 良 県
兵 庫 県	15																									1-5												38 石 川 県
大 分 県	16	1-13																																				39 広 島 県
滋 賀 県	17													1-21																								40 千 葉 県
大 阪 府	18																									1-14												41 香 川 県
岡 山 県	19	1-6																																				42 和 歌 山 県
埼 玉 県	20													1-19																								43 福 井 県
山 梨 県	21																									1-7												44 長 崎 県
秋 田 県	22	1-15																																				45 京 都 府
岩 手 県	23													1-23																								46 北 海 道
5 位 決 定 戦																										47 茨 城 県												
																										1-22												
														2-23																								
順位決定予備戦																																						
3 位 決 定 戦																																						
7 位 決 定 戦																																						

# なぎなた競技 組合せ表

## 【 少 年 女 子 】 < 試 合 競 技 >

都道府県名	9月29日(月)			9月30日(火)			9月29日(月)			都道府県名							
	1回戦	2回戦	準々決勝	準決勝	決勝	準決勝	準々決勝	2回戦	1回戦								
(第1試合場)							(第2試合場)										
山形県	1	1-1	1-9	1-13	1-17	1-18	2-17	2-13	2-9	2-1	17 福井県						
新潟県	2									18 愛知県							
佐賀県	3	2-2							19 沖縄県								
大阪府	4								20 京都府								
高知県	5	2-3	2-10					2-17	2-4	21 愛媛県							
鹿児島県	6									22 香川県							
岡山県	7	2-5								2-11	2-14	2-6	23 兵庫県				
山口県	8												24 滋賀県				
神奈川県	9	2-7	2-12						2-17			2-8	25 福岡県				
長崎県	10												26 島根県				
埼玉県	11	2-13								2-14		2-17	2-15	27 北海道			
千葉県	12													28 東京都			
山梨県	13	2-16	2-17										2-17	2-18	29 岐阜県		
三重県	14														30 宮城県		
石川県	15	2-19								2-20				2-21	2-22	31 秋田県	
岩手県	16															32 和歌山県	
</																	

# なぎなた競技 組合せ表

## 【 成 年 女 子 】 < 演 技 競 技 >

都道府県名		9月30日(火)										都道府県名															
		1回戦	2回戦	3回戦	準々決勝	準決勝	決勝	準決勝	準々決勝	3回戦	2回戦			1回戦													
(第1試合場)												(第2試合場)															
徳島県	1											24	青森県														
埼玉県	2											2-9	25	宮城県													
岐阜県	3	1-1										2-1	26	大阪府													
沖縄県	4											2-17	27	奈良県													
静岡県	5											2-10	2-2	28	福岡県												
大分県	6											2-21	29	岩手県													
福島県	7											2-11	30	愛媛県													
東京都	8	1-2										2-3	31	高知県													
島根県	9											2-18	32	佐賀県													
富山県	10	1-3										2-4	33	山梨県													
群馬県	11											2-12	34	秋田県													
茨城県	12											2-25	35	新潟県													
愛知県	13											2-13	36	栃木県													
鳥取県	14	1-4										2-5	37	長野県													
長崎県	15											2-19	38	山形県													
三重県	16	1-5										2-6	39	福井県													
宮崎県	17											2-14	40	神奈川県													
岡山県	18											2-22	41	香川県													
北海道	19											2-15	42	滋賀県													
和歌山県	20	1-6										2-7	43	京都府													
兵庫県	21											2-20	44	鹿児島県													
石川県	22	1-7										2-8	45	広島県													
山口県	23											2-16	46	千葉県													
													47	熊本県													
												順位決定予備戦				3位決定戦				7位決定戦							
												1-20 の 敗者				1-21 の 敗者				2-21 の 敗者				2-22 の 敗者			
												1-24 の 敗者				2-25 の 敗者				1-22 の 敗者				2-23 の 敗者			
												1-23 5位決定戦				2-26				2-24							
												1-22				2-23											

【 成 年 女 子 】  
＜ 試 合 競 技 ＞

26

# 式 次 第

## 【オープニングプログラム】

日 時 令和 7 年 9 月 29 日（月） 9 時 20 分～ 9 時 50 分  
場 所 パナソニック株式会社くらしアプライアンス社彦根工場多目的ホール

1	開式通告
2	選手団入場
3	競技会開始宣言
4	国歌斉唱
5	大会会長トロフィー返還
6	競技会会長挨拶
7	歓迎のことば
8	審判長注意
9	閉式通告
10	選手団退場

## 【少 年 女 子 表 彰 式】

日 時 令和 7 年 9 月 30 日（火） 11 時 50 分～12 時 15 分  
場 所 パナソニック株式会社くらしアプライアンス社彦根工場多目的ホール

1	開式通告
2	選手団入場
3	成績発表
4	賞状授与
5	閉式通告
6	選手団退場

## 【成年女子表彰式・総合表彰式】

日 時 令和 7 年 10 月 1 日（水） 12 時 40 分～13 時 20 分  
場 所 パナソニック株式会社くらしアプライアンス社彦根工場多目的ホール

1	開式通告
2	選手団入場
3	成績発表
4	賞状授与
5	総合成績発表
6	表彰状授与
7	大会会長トロフィー授与
8	競技会会長挨拶
9	歓送のことば
10	競技会終了宣言
11	閉式通告
12	選手団退場

# なぎなた競技の見方

なぎなた競技には、「試合」と「演技」の2つがあります。

試合競技は、防具を身につけ、定められた部位を互いに打突して勝負を競います。

また、演技競技は、防具を身につけず、指定された形を対人で行ってその技を競います。

## 1. 試合競技

試合競技は団体戦で行います。

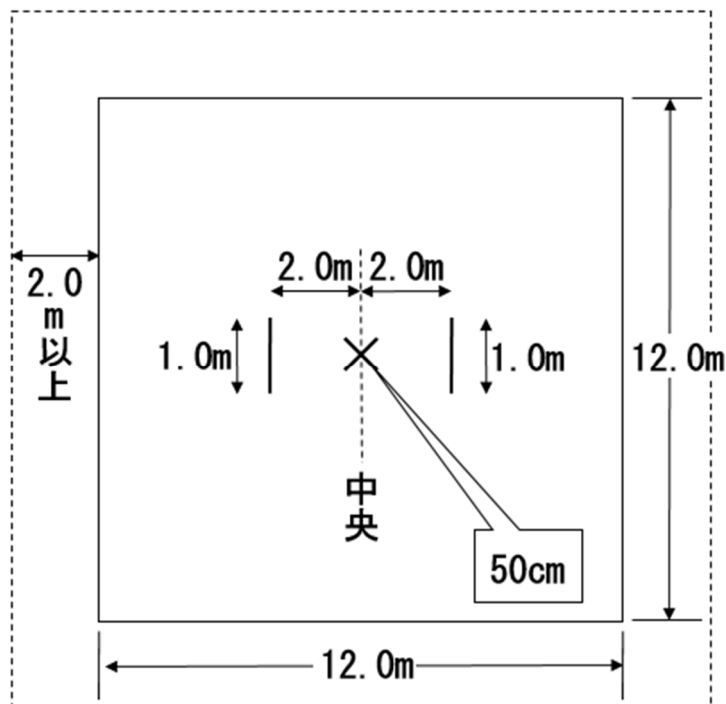
2人の試合者が、定められた部位（面部、小手部、胴部、脛部、咽喉部）を、確実に早く打突して勝負を競います。

技は、振りあげ、持ちかえ、振り返して左右からあらゆる方向へ打つことができます。

敏速な動きの中から打突の機会を見出し、全力をあげて技を競い合います。相手に対して、よい間合からタイミングよく技を出すことが勝利に結びつきます。

### （1）試合場

コートのはさは12m四方です。

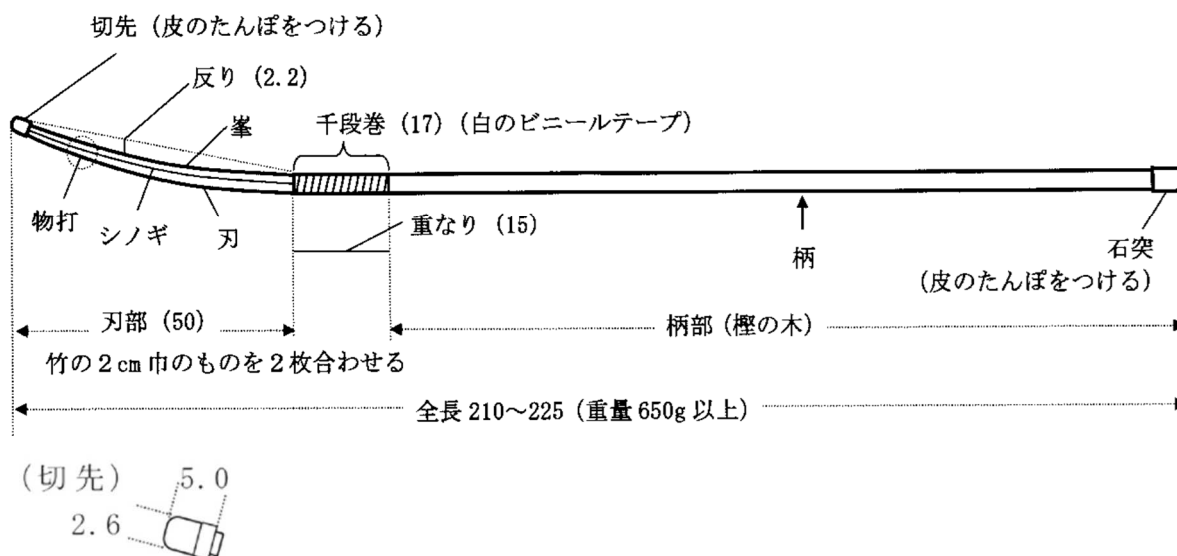


開始線は中央より 2 m  
開始線長さ 1 m  
中央の×印線長さ 50cm



## (2) 用 具

なぎなたは、次のような長さ、重量及び材質のものを 사용합니다。



## (3) 試合の方法

3本勝負が原則で、試合時間内に有効打突を2本先取した方が勝ちとなります。ただし、所定の本数に達しない時は、1本先取した方を勝ちとします。

試合競技の試合時間は、3分。勝敗が決しない場合は、延長戦を行います。延長時間は2分、延長1回で勝敗が決しない場合は、審判員の判定とします。団体戦の勝負は勝者数により決定します。

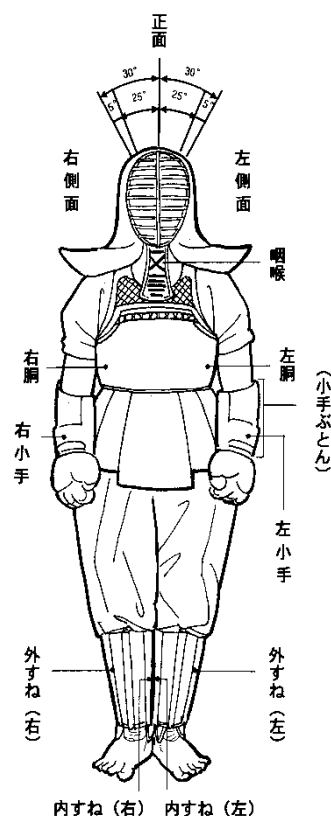
## (4) 有効打突

有効打突とは、なぎなたの打突部で打突部位を、充実した氣勢と適法な姿勢とをもって、打突部位を呼称しながら確実に打突したものをいいます。

- ①物打（切先から15～20cm）が正確に打突部位に到達していること。
  - ②打突時に姿勢が正しく理にかなった動作であること。
  - ③打突の機会がよいこと。
  - ④気魄に満ち、打ったあと残心があること。
  - ⑤やや軽くとも追い込んだ際の打突、あるいは追い込まれた時に加えたもっとも確実な打突。
- これらの条件を満たしている打突が有効と認められます。

## (5) 打突部位となぎなたの打突部

打 突 部 位	なぎなたの打突部
面 部—正 面(中央) 左右側面 (正面中央より左右に 25° ～30° )	●切先より 15cm～20cm のところ (物打)
小手部—左右小手 (甲側の手首から 5cm のところ)	●切先より 15cm～20cm のところ (物打)
胴 部—左右胴	●切先より 15cm～20cm のところ (物打)
脛 部—左右脛 左右内脛 (膝とくるぶしの中間)	●切先より 15cm～20cm のところ (物打) および柄(石突より 20cm～ 25cm のところ)(柄打ちのすねは高 校生以下は禁じられている)
咽喉部—咽 喉	●切先 (高校生以下は禁じられている)



## (6) 勝負の判定

審判員は3名で、2人以上の審判員が打突を有効と認めた時、1本となります。審判員は、両手に赤、白の審判旗を持ち、有効と認めた時はその方の旗を斜め上にあげ、認めない時は両方の旗を前下で振って意志の表示をします。

審判員の判定に対して、異議の申し立てはできません。

## (7) 反則の主なもの

片足の全部が場外に出た時、倒れて体の一部が場外に出た時は反則になります。また、なぎなたの柄部で相手の面を打つのも反則です。このほか試合規定に定められた反則を1試合中に2回重ねると相手に1本を与えます。

## (8) 判定表示の方法

審判の判定は、次のように表示されます。

面……………㊗	反 則……………△
脛……………㊗	反則1本……………㊗
小 手……………㊗	(2回した場合)
胴……………㊗	判 定……………㊗
突 き……………㊗	棄 権……………㊗
	不戦勝……………〇〇

## 2. 演技競技

演技競技は、全日本なぎなた連盟のしかけ応じ8本の中から定められた3本を、2人1組の演技者によって行い、その技の優劣を競い合います。

なぎなたの技の向上をはかるとともに、正しいなぎなたの普及、発展を目的として行われる競技です。

### (1) 観 点

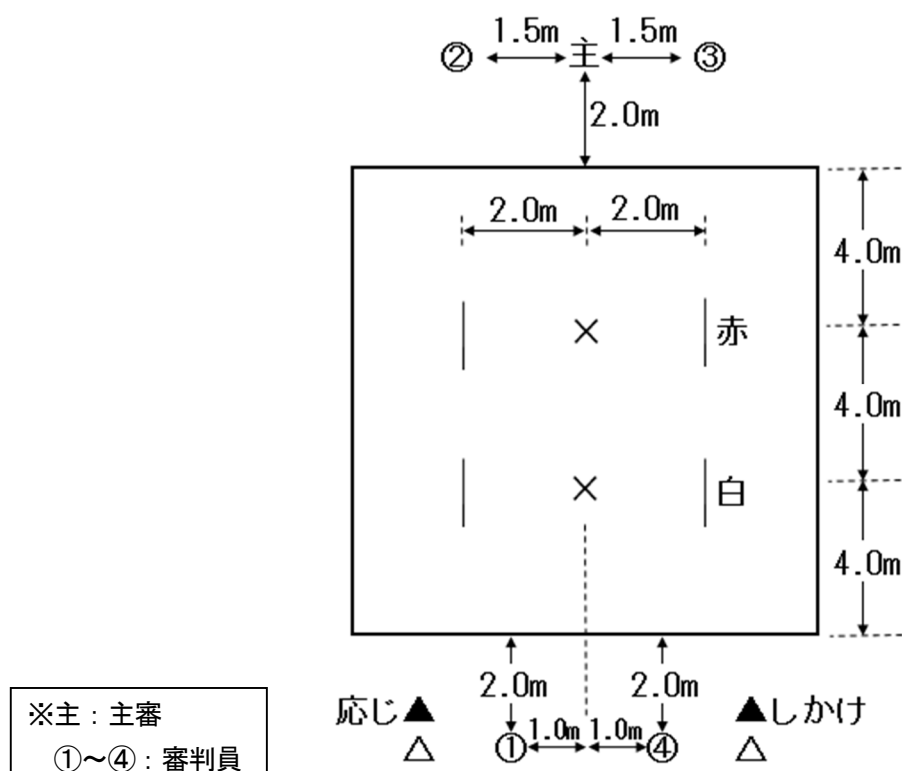
演技の判定基準となるものは、演技者双方の姿勢、服装、態度、発声、呼吸と気持ちが調和しているか、打突部位を正確に気魄に満ちた打突をしているか、残心、間合、手の内、着眼等理合にかなった技であるか、見る人に感動を与えたかなどの点です。

このように、なぎなたは気・剣・体一致の技をめざして修錬が行われるので、活発な気合いに満ちた動きによって、苦しさに耐える旺盛な気力と集中力が養われます。それと共になぎなたは、礼に始まって礼に終わると言われるように相手を尊重し、信頼の上に立って対人競技を行う為に礼儀を重んじ、相手を尊ぶ心が自然に養われ優美な自然体が培われます。

これがなぎなたの真髄です。

## (2) 演技場

コート of 広さは 12m 四方で、このコート内で赤、白 2 組の演技者によって技を競います。



### (3) 勝 敗

5名の審判員が赤、白の旗を持ち、厳正的確に演技者の充実した氣勢と適法な姿勢による技の良否を見定めて判定し、過半数をもって勝敗を決定します。

## 都道府県別参加人員一覧

都道府県	監 督	成 年 女 子	少 年 女 子	合 計	都道府県	監 督	成 年 女 子	少 年 女 子	合 計
北 海 道	1	3	3	7	滋 賀 県	1	3	3	7
青 森 県	1	3	2	6	京 都 府	1	3	3	7
岩 手 県	1	3	3	7	大 阪 府	1	3	3	7
宮 城 県	1	3	3	7	兵 庫 県	1	3	3	7
秋 田 県	1	3	3	7	奈 良 県	1	3	2	6
山 形 県	1	3	3	7	和歌山県	1	3	3	7
福 島 県	1	3	2	6	鳥 取 県	1	3	2	6
茨 城 県	1	3	2	6	島 根 県	1	3	3	7
栃 木 県	1	3	2	6	岡 山 県	1	3	3	7
群 馬 県	1	3	2	6	広 島 県	1	3	2	6
埼 玉 県	1	3	3	7	山 口 県	1	3	3	7
千 葉 県	1	3	3	7	香 川 県	1	3	3	7
東 京 都	1	3	3	7	徳 島 県	1	3	2	6
神奈川県	1	3	3	7	愛 媛 県	1	3	3	7
山 梨 県	1	3	3	7	高 知 県	1	3	3	7
新 潟 県	1	3	3	7	福 岡 県	1	3	3	7
長 野 県	1	3	2	6	佐 賀 県	1	3	3	7
富 山 県	1	3	2	6	長 崎 県	1	3	3	7
石 川 県	1	3	3	7	熊 本 県	1	3	2	6
福 井 県	1	3	3	7	大 分 県	1	3	2	6
静 岡 県	1	3	2	6	宮 崎 県	1	3	2	6
愛 知 県	1	3	3	7	鹿 児 島 県	1	3	3	7
三 重 県	1	3	3	7	沖 縄 県	1	3	3	7
岐 阜 県	1	3	3	7	合 計	47	141	126	314

## 参加監督・選手一覧（少年女子）

都道府県名	監督名	試合競技（選手は大将・中堅・先鋒の順）			演技競技	
		選手名	称号 又は 段級	勤務先又は学校名	し・ 応	選手名
北海道	大下浩史	村上仁彩	1級	北海道札幌国際情報高等学校	し	村上仁彩
		古島舞桜	1級	北海道札幌国際情報高等学校	・	
		矢作菜那	1級	北海道札幌国際情報高等学校	応	矢作菜那
青森県	加藤貴子	山谷ほのか	1級	青森県立弘前中央高等学校	し	山谷ほのか
		鈴木詩乃	初段	青森県立弘前中央高等学校	応	鈴木詩乃
岩手県	細川都也子	山口柚葉	二段	岩手県立盛岡第二高等学校	し	渡辺は菜
		南館ひより	初段	岩手県立盛岡第三高等学校	・	
		渡辺は菜	二段	岩手県立盛岡第二高等学校	応	山口柚葉
宮城県	松田陽子	佐藤玖咲	初段	仙台育英学園高等学校	し	田中望愛
		村上実音	初段	仙台育英学園高等学校	・	
		田中望愛	初段	仙台育英学園高等学校	応	村上実音
秋田県	竹村紀子	藤田真衣	二段	秋田県立大曲高等学校	し	柴田葵
		工藤柚菜	二段	秋田県立大曲高等学校	・	
		柴田葵	二段	秋田県立大曲高等学校	応	藤田真衣
山形県	高橋千里	遠藤さち	二段	山形県立山形北高等学校	し	高橋かなみ
		高橋かなみ	二段	山形県立天童高等学校	・	
		長谷川悠奈	1級	山形県立天童高等学校	応	遠藤さち
福島県	足立美香	大山姫花	二段	会津若松ザベリオ学園高等学校	し	大山姫花
		安藤美里	二段	福島県立会津学鳳高等学校	応	安藤美里
茨城県	加賀己智世	植田楓	初段	茨城県立水戸第三高等学校	し	植田楓
		久保田椎那	初段	茨城県立水戸第三高等学校	応	久保田椎那
栃木県	篠原まゆみ	岡崎杏	初段	國學院大學栃木高等学校	し	岡崎杏
		臼井肇埜	1級	國學院大學栃木高等学校	応	臼井肇埜

都道府県名	監督名	試合競技（選手は大将・中堅・先鋒の順）			演技競技	
		選手名	称号 又は 段級	勤務先又は学校名	し・ 応	選手名
群馬県	井上敏克	横山心美	無級	共愛学園高等学校	し	横山心美
		高橋陽万里	1級	共愛学園高等学校	応	高橋陽万里
埼玉県	芦川寿美	成澤花奈	二段	埼玉栄高等学校	し	豊田ひなた
		益川蘭	初段	埼玉栄高等学校	・	
		豊田ひなた	二段	埼玉栄高等学校	応	成澤花奈
千葉県	住母家喜代美	渡邊香都	初段	植草学園大学附属高等学校	し	相川由佳
		助田実紅	初段	千葉県立市川東高等学校	・	
		相川由佳	初段	千葉県立千葉女子高等学校	応	渡邊香都
東京都	荒川郭代	関笙乃	二段	東京都立富士高等学校	し	山本小百合
		片岡萌	二段	東京都立城東高等学校	・	
		山本小百合	二段	東京都立城東高等学校	応	片岡萌
神奈川県	鈴木保子	戸田遥	初段	神奈川大学附属高等学校	し	前田七海
		前田七海	二段	神奈川大学附属高等学校	・	
		鶴見由依	初段	神奈川大学附属高等学校	応	鶴見由依
山梨県	天野祐子	笠井栞那	二段	山梨県立青洲高等学校	し	杉山るか
		早川未来	初段	山梨県立甲府昭和高等学校	・	
		杉山るか	初段	山梨県立甲府昭和高等学校	応	早川未来
新潟県	橋本明理	坂巻結花	1級	県立柏崎常盤高校	し	小堺海音
		関塚アヅヤ	1級	県立柏崎常盤高校	・	
		小堺海音	1級	県立柏崎常盤高校	応	関塚アヅヤ
長野県	落合仁美	奥原夢	2級	大町岳陽高等学校	し	奥原夢
		竹内紗雪	初段	上田西高等学校	応	竹内紗雪
富山県	佐野光代	百島瑠那	初段	富山県立南砺福野高等学校	し	百島瑠那
		幡谷夏美	1級	富山県立南砺福野高等学校	応	幡谷夏美
石川県	赤倉和子	能戸梓沙	1級	石川県立津幡高等学校	し	藏野和香
		落合結咲	1級	石川県立津幡高等学校	・	
		藏野和香	1級	石川県立津幡高等学校	応	能戸梓沙

都道府県名	監督名	試合競技（選手は大将・中堅・先鋒の順）			演技競技	
		選手名	称号 又は 段級	勤務先又は学校名	し・ 応	選手名
福井県	村井仁美	清水芽生	初段	鯖江高等学校	し	山本伊咲
		山本伊咲	2級	鯖江高等学校	・	
		沼倉弥蘭	1級	羽水高等学校	応	清水芽生
静岡県	松本佳奈	山本美玖	2級	浜松市立高等学校	し	山本美玖
		戸田野恵	2級	浜松市立高等学校	・ 応	戸田野恵
愛知県	河合健太郎	長谷川希	初段	東海学園高等学校	し	小林諭都緑
		川本雪姫	初段	愛知県立碧南高等学校	・	
		小林諭都緑	初段	東海学園高等学校	応	長谷川希
三重県	友延佐矢加	植松紗歩	初段	三重県立稲生高等学校	し	上田えり
		上田えり	初段	三重県立稲生高等学校	・	
		武田清奈	1級	高田高等学校	応	植松紗歩
岐阜県	大橋絵美	中野愛菜	1級	岐阜県立大垣商業高等学校	し	菊平七生
		伊藤真優	1級	岐阜県立大垣商業高等学校	・	
		菊平七生	初段	岐阜県立大垣商業高等学校	応	中野愛菜
滋賀県	西川雄登	入江そな	1級	滋賀県立彦根翔西館高等学校	し	樋田千咲
		樋田千咲	1級	滋賀県立彦根翔西館高等学校	・	
		諸川風	初段	光泉カトリック高等学校	応	入江そな
京都府	谷口啓子	里日和	初段	京都府立南陽高等学校	し	里日和
		野口春花	初段	京都府立南陽高等学校	・	
		成田ひまり	1級	京都府立南陽高等学校	応	野口春花
大阪府	金岡智子	駒井志穂梨	初段	清教学園高等学校	し	奥村琴心
		加藤花恋	1級	清教学園高等学校	・	
		奥村琴心	初段	清教学園高等学校	応	駒井志穂梨
兵庫県	井口直子	小西美海	二段	園田学園高等学校	し	山本佳歩
		千田芽依	二段	伊丹市立伊丹高等学校	・	
		山本佳歩	二段	小林聖心女子学院高等学校	応	千田芽依
奈良県	黒松展子	田村蒼衣	初段	奈良育英高等学校	し	田村蒼衣
		佐伯壽埜	2級	奈良育英高等学校	・ 応	佐伯壽埜

都道府県名	監督名	試合競技（選手は大将・中堅・先鋒の順）			演技競技	
		選手名	称号 又は 段級	勤務先又は学校名	し・ 応	選手名
和歌山県	山崎美加子	守田結子	二段	和歌山県立和歌山北高等学校	し	片岡初陽
		油谷知歩	1級	和歌山県立和歌山北高等学校	・	
		片岡初陽	初段	近畿大学附属新宮高等学校	応	守田結子
鳥取県	西尾芳子	漆原心暖	3級	鳥取県立鳥取西高等学校	し	漆原心暖
		上田菜月	3級	鳥取県立鳥取西高等学校	・ 応	上田菜月
島根県	井上美代	安田結衣	1級	出雲北陵高等学校	し	曾田小夏
		曾田小夏	無級	出雲北陵高等学校	・	
		吉田千秋	4級	出雲北陵高等学校	応	安田結衣
岡山県	杉田洋子	塩津結衣	初段	岡山市立岡山後楽館高校	し	田村咲那
		田村咲那	初段	岡山市立岡山後楽館高校	・	
		松浦美空	1級	岡山市立岡山後楽館高校	応	塩津結衣
広島県	永井弥生	小早川奈穂	1級	広島県立三次高等学校	し	小早川奈穂
		中崎綾音	二段	比治山女子高等学校	・ 応	中崎綾音
山口県	吉松高敏	舞田柚結	初段	山口県立長府高等学校	し	中野七海
		阪井未明来	初段	山口県立長府高等学校	・	
		中野七海	初段	山口県立長府高等学校	応	舞田柚結
香川県	熊野明美	新崎日菜	二段	県立琴平高等学校	し	新崎日菜
		森愛純	初段	県立丸亀城西高等学校	・	
		橋本凜子	1級	県立琴平高等学校	応	橋本凜子
徳島県	郡利江	村上優和	無級	徳島県立鳴門高等学校	し	村上優和
		里見実優	無級	徳島県立鳴門高等学校	・ 応	里見実優
愛媛県	萬家利恵	宮崎菜	二段	愛媛県立北条高等学校	し	森流海
		中矢幸花	二段	新田高等学校	・	
		森流海	初段	愛媛県立北条高等学校	応	宮崎菜
高知県	平林由吏	山下心愛	無級	高知県立宿毛高等学校	し	安岡莉星
		安岡莉星	無級	高知県立宿毛高等学校	・	
		安喜結未	無級	高知県立宿毛高等学校	応	安喜結未



都道府県名	監督名	試合競技（選手は大将・中堅・先鋒の順）			演技競技	
		選手名	称号 又は 段級	勤務先又は学校名	し・ 応	選手名
福岡県	岩村智子	角和奏	二段	筑紫女学園高等学校	し	久世七帆
		井希々栳	二段	中村学園女子高等学校	・	
		久世七帆	1級	福岡県立須恵高等学校	応	角和奏
佐賀県	野口みや子	山本羽凰	1級	佐賀県立佐賀東高等学校	し	外村樹蘭
		外村樹蘭	2級	佐賀県立佐賀東高等学校	・	
		坂田はなみ	2級	佐賀県立佐賀東高等学校	応	山本羽凰
長崎県	金子由美子	梶原愛瑠	2級	長崎県立松浦高等学校	し	崎田愛
		崎田愛	2級	長崎県立松浦高等学校	・	
		成富姫香	2級	長崎県立松浦高等学校	応	梶原愛瑠
熊本県	大曲里美	久保百香	初段	熊本県立第一高等学校	し	久保百香
		橋本佳奈	初段	熊本県立第一高等学校	・ 応	橋本佳奈
大分県	小野博美	田口真帆	初段	大分県立大分西高等学校	し	田口真帆
		藤澤美々子	1級	大分県立大分西高等学校	・ 応	藤澤美々子
宮崎県	吉村侑子	岩切彩恵	無級	県立宮崎南高等学校	し	岩切彩恵
		児玉彩希	無級	県立宮崎南高等学校	・ 応	児玉彩希
鹿児島県	上牧真美	大坪芽生	初段	鹿児島県立川辺高等学校	し	菊永梓心
		山下詩乃	初段	鹿児島県立川辺高等学校	・	
		菊永梓心	初段	鹿児島県立川辺高等学校	応	山下詩乃
沖縄県	瑞慶山良作	大木みらい	初段	沖縄県立知念高等学校	し	上原朱莉
		上原朱莉	初段	沖縄県立知念高等学校	・	
		宮城加奈史	二段	沖縄県立首里高等学校	応	大木みらい

## 参加監督・選手一覧（成年女子）

都道府県名	監督名	試合競技（選手は大将・中堅・先鋒の順）			演技競技	
		選手名	称号 又は 段級	勤務先又は学校名	し・ 応	選手名
北海道	大下浩史	高橋梓	四段	学校法人堀江学園 島田第一幼稚園	し	福島杏菜
		糸井華陽	初段	北海道文化服装専門学校	・	
		福島杏菜	1級	北海道教育大学岩見沢校	応	糸井華陽
青森県	加藤貴子	三浦鈴蘭	四段	株式会社 JR東日本青森商業開発	し	齋藤みなみ
		齋藤みなみ	三段	藤崎町役場	・	
		小田楓香	三段	株式会社 SHIFT	応	三浦鈴蘭
岩手県	細川都也子	佐藤遙海	四段	二戸市役所	し	佐藤遙海
		大澤彩	五段	岩手県立盛岡第二高等学校（教）	・	
		西川紗生	二段	日本女子体育大学	応	大澤彩
宮城県	松田陽子	菅原千桜	三段	伯山交通株式会社	し	佐藤美玖
		佐藤美玖	初段	都留文科大学	・	
		村上果音	初段	同志社大学	応	菅原千桜
秋田県	竹村紀子	高橋桃花	三段	大仙市役所	し	高橋桃花
		本多由生	四段	J A秋田厚生連平鹿総合病院	・	
		佐々木里桜	二段	国際武道大学	応	本多由生
山形県	高橋千里	大西真子	五段	山形県立天童高等学校（教）	し	佐藤滋美
		佐藤滋美	五段	株式会社エイアンドシー	・	
		村山花音	三段	山形トヨペット株式会社	応	大西真子
福島県	足立美香	辰野心音	三段	福島大学	し	野村咲祐
		野村咲祐	二段	新潟県立大学	・	
		安藤ゆき	二段	株式会社 伊藤ガラス	応	辰野心音
茨城県	加賀己智世	新島希美	五段	神戸工業試験場	し	服部ゆかり
		服部ゆかり	五段	茨城県立鉾田第二高等学校（職）	・	
		水谷晴佳	四段	茨城県立水戸第三高等学校（教）	応	水谷晴佳
栃木県	篠原まゆみ	萱場由華	錬士	J A全農ミートフーズ(株)	し	疋田かんな
		佐藤亜季	五段	(福)パステル	・	
		疋田かんな	五段	國學院大學栃木高等学校(教)	応	佐藤亜季
群馬県	井上敏克	川田梨乃	三段	藤岡多野医師会	し	川田梨乃
		井上由里葵	四段	太田市立沢野小学校（教）	・	
		櫻井陽菜	1級	群馬医療福祉大学	応	井上由里葵

都道府県名	監督名	試合競技（選手は大将・中堅・先鋒の順）			演技競技	
		選手名	称号 又は 段級	勤務先又は学校名	し・応	選手名
埼玉県	芦川寿美	清水万里花	三段	埼玉県なぎなた連盟	し	鈴木志穂
		石井妙	五段	埼玉県なぎなた連盟	・	
		鈴木志穂	二段	国際武道大学	応	石井妙
千葉県	住母家喜代美	長嶋姫那	三段	淑徳大学	し	長嶋姫那
		久保田菜乃	二段	熊本総合医療リハビリテーション専門学校	・	
		関琴暖	二段	大妻女子大学	応	関琴暖
東京都	荒川郭代	和田うらら	五段	東京都立城東高等学校（教）	し	和田うらら
		北希織	五段	ディスカバリーズ株式会社	・	
		永尾日向子	四段	愛国高等学校（教）	応	北希織
神奈川県	鈴木保子	山近萌恵乃	三段	昭和大学	し	山近萌恵乃
		新井寛乃	三段	日本マクドナルド株式会社	・	
		伊藤遙	初段	熊本県立大学	応	新井寛乃
山梨県	天野祐子	志藤瑠美	三段	LAVAミソラタウン掛川店	し	七沢明里
		七沢明里	初段	山梨大学	・	
		志藤すず穂	三段	東海旅客鉄道株式会社	応	志藤瑠美
新潟県	枡本明理	臼井菜乃美	三段	（公財）新潟県スポーツ協会	し	臼井菜乃美
		石塚季夏子	四段	新潟県なぎなた連盟	・	
		平野心優	初段	長岡崇徳大学	応	石塚季夏子
長野県	落合仁美	戸田千恵	五段	塩尻市立吉田小学校（教）	し	伊勢谷明奈
		三浦百穂	二段	岡学園トータルデザインアカデミー	・	
		伊勢谷明奈	五段	(株)テレビ松本ケーブルビジョン	応	戸田千恵
富山県	佐野光代	齋藤ゆりの	二段	株式会社ホーエ	し	齋藤ゆりの
		安田明咲花	二段	上越教育大学	・	
		安田ひかる	二段	武庫川女子大学	応	安田明咲花
石川県	赤倉和子	藤岡葉月	四段	石川県立七尾特別支援学校（教）	し	中村綾里
		中村綾里	二段	社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院	・	
		平畠菜穂	初段	日本フィルター工業株式会社	応	藤岡葉月
福井県	村井仁美	斎藤楽音	二段	大阪体育大学	し	斎藤楽音
		島崎結加	二段	関西大学	・	
		簗輪七海	二段	関西大学	応	島崎結加

都道府県名	監督名	試合競技（選手は大将・中堅・先鋒の順）			演技競技	
		選手名	称号 又は 段級	勤務先又は学校名	し・応	選手名
静岡県	松本佳奈	渥美友貴	二段	大妻女子大学	し	渥美友貴
		高井朱音	三段	静岡県なぎなた連盟	・	
		菅谷麻乃	四段	富士市立第一保育園	応	菅谷麻乃
愛知県	河合健太郎	林香予子	五段	名古屋国税局	し	鳥羽瀬里帆
		砂川佳奈子	四段	小牧市民病院	・	
		鳥羽瀬里帆	四段	豊川市立代田中学校（教）	応	砂川佳奈子
三重県	友延佐矢加	大久保琥珀	二段	福岡大学	し	榊田瑠那
		榊田瑠那	四段	鈴鹿回生病院	・	
		赤塚未悠	三段	関西大学	応	赤塚未悠
岐阜県	大橋絵美	泊夢乃	四段	株式会社ジーケーエス	し	足立有里
		足立有里	四段	児童福祉施設たけっこ	・	
		高木菜摘	三段	太平洋工業株式会社	応	泊夢乃
滋賀県	西川雄登	小田島由加里	二段	滋賀県なぎなた連盟	し	山本七叶
		梅田千穂子	四段	株式会社 橋電	・	
		山本七叶	二段	長浜元浜郵便局	応	梅田千穂子
京都府	谷口啓子	柳沢心	二段	鹿屋体育大学	し	柳沢心
		貫井みさき	錬士	京都府立南陽高等学校（教）	・	
		西谷紗季	二段	同志社女子大学	応	貫井みさき
大阪府	金岡智子	長田かえで	二段	大阪体育大学	し	森寄有里子
		光森奏音	二段	関西大学	・	
		森寄有里子	二段	神戸松蔭大学	応	光森奏音
兵庫県	井口直子	浅沼友貴	五段	近畿大学附属豊岡高等学校・中学校（教）	し	阿部真優
		太田黒永	四段	医療法人徳洲会高砂西部病院	・	
		阿部真優	四段	伊丹市立伊丹高等学校（教）	応	浅沼友貴
奈良県	黒松展子	福岡歩	五段	奈良県立桜井高等学校（教）	し	犬伏未奈
		井口晴奈	四段	奈良育英高等学校（教）	・	
		犬伏未奈	三段	国際武道大学	応	福岡歩
和歌山県	山崎美加子	山内綾	錬士	和歌山県立和歌山北高等学校（教）	し	角谷香織
		角谷香織	五段	九度山町教育委員会	・	
		湊彩江	四段	株式会社陶彩館	応	山内綾

都道府県名	監督名	試合競技（選手は大将・中堅・先鋒の順）			演技競技	
		選手名	称号 又は 段級	勤務先又は学校名	し・応	選手名
鳥取県	西尾芳子	田渕真美	初段	鳥取市立病院 看護局	し	田渕真美
		富士原鈴	1級	関西外国語大学	・	
		松岡優	3級	広島国際大学	応	富士原鈴
島根県	井上美代	安喰愛	錬士	（公財）島根県スポーツ協会	し	安喰愛
		高田彩	四段	生活協同組合しまね	・	
		石飛涼子	三段	北陵認定こども園	応	高田彩
岡山県	杉田洋子	水田孝子	錬士	トーステ株式会社	し	水田孝子
		黒藪理恵子	四段	美咲町役場	・	
		青井千莉	三段	オハヨー乳業株式会社	応	黒藪理恵子
広島県	永井弥生	高橋更紗	三段	広島県なぎなた連盟	し	大上のどか
		河野葵	三段	広島県なぎなた連盟	・	
		大上のどか	三段	広島女学院大学	応	河野葵
山口県	吉松高敏	三村真結	二段	福岡大学	し	中邑心咲
		森脇佳奈	二段	鹿屋体育大学	・	
		中邑心咲	初段	国際武道大学	応	森脇佳奈
香川県	熊野明美	宮武朝香	三段	香川県警察署	し	大岡瞳
		大岡瞳	二段	大岡鉄工株式会社	・	
		山下倅加	二段	関西大学	応	宮武朝香
徳島県	郡利江	阿部優子	四段	徳島県なぎなた連盟	し	林優良
		鎌田莉緒	初段	専門学校徳島穴吹カレッジ	・	
		林優良	初段	徳島文理大学	応	鎌田莉緒
愛媛県	萬家利恵	近藤結	二段	大阪体育大学	し	菊川愛理
		得丸友梨香	二段	愛媛県立新居浜西高等学校（教）	・	
		菊川愛理	三段	矢野調剤薬局	応	近藤結
高知県	平林由吏	橋本美江	錬士	高知県立宿毛高等学校（教）	し	大仲麻友
		井垣公美	無級	土佐情報経理専門学校	・	
		大仲麻友	三段	大阪府警	応	橋本美江
福岡県	岩村智子	斉藤智愛	四段	医療法人相生会福岡みらい病院	し	平田華代
		間島葵	三段	（株）TANNAL	・	
		平田華代	三段	福岡大学	応	斉藤智愛

都道府県名	監督名	試合競技（選手は大将・中堅・先鋒の順）			演技競技	
		選手名	称号 又は 段級	勤務先又は学校名	し・ 応	選手名
佐賀県	野口みや子	畠山花菜 江越由季 高島蛍叶	四段 四段 1級	佐賀県立大和特別支援学校（教） 佐賀県立牛津高等学校（教） 武雄看護リハビリテーション学校	し ・ 応	江越由季  畠山花菜
長崎県	金子由美子	川田そら 前田美月 中原志津佳	初段 初段 二段	長崎県なぎなた連盟 別府大学 神戸松蔭女子学院大学	し ・ 応	前田美月  中原志津佳
熊本県	大曲里美	北島未智 北島未稀 大森穂栂	三段 四段 三段	熊本赤十字病院 東海大学熊本星翔高等学校（教） 九州ルーテル学院大学	し ・ 応	北島未稀  北島未智
大分県	小野博美	伊藤永愛 橋爪千聡 森栞	二段 三段 初段	国際武道大学 大分大学 別府大学	し ・ 応	橋爪千聡  伊藤永愛
宮崎県	吉村侑子	坂本優 草野汐梨 横倉志菜	四段 三段 初段	宮崎市立大淀中学校（教） 県立宮崎南高等学校（教） 神戸松蔭女子学院大学	し ・ 応	草野汐梨  坂本優
鹿児島県	上牧真美	田口真耶 村田凜 國光蓮	四段 三段 三段	鹿児島銀行(株) 鹿児島県立武岡台特別支援学校（教） 鹿屋体育大学	し ・ 応	田口真耶  村田凜
沖縄県	瑞慶山良作	上地星菜 喜田真帆 上村奈央	四段 四段 四段	株式会社琉球銀行 那覇市立小禄小学校(教) 沖縄尚学高等学校附属中学校(教)	し ・ 応	上地星菜  喜田真帆

## 栄光をたたえて（過去成績一覧）

回	開催地	種別	試 合 競 技			演 技 競 技			総合成績
38	群 馬 県 新 町 (正式競技となる)	成年 女子	兵 庫 県	先鋒 中堅 大将	久 田 登 赤 井 典 成 田 登代子	群 馬 県	し・ 応	佐 藤 視 代 星 野 恵美子	群 馬 県
		少年 女子	岡 山 県	先鋒 中堅 大将	植 月 洋 重 平 明 佐 古 恭子	福 岡 県	し・ 応	八 尋 鈴 江 三 船 美 香	
39	奈 良 県 川 西 町	成年 女子	鹿児島県	先鋒 中堅 大将	大 山 久美子 内 山 喜久代 畠 中 晴 美	兵 庫 県	し・ 応	小 川 由 美 久 田 登 子	奈 良 県
		少年 女子	岡 山 県	先鋒 中堅 大将	佐 古 恭 植 月 洋 重 平 明 美	兵 庫 県	し・ 応	高 橋 ゆかり 中 山 明 子	兵 庫 県
40	鳥 取 県 岸 本 町	成年 女子	鹿児島県	先鋒 中堅 大将	久 保 千 草 大 山 久美子 畠 中 晴 美	鳥 取 県	し・ 応	小 西 薫 酒 井 美 幸代	鳥 取 県
		少年 女子	鳥 取 県	先鋒 中堅 大将	望 月 史 代 大 坪 由 枝 中 島 香 乃	鳥 取 県	し・ 応	中 島 香 乃	
41	山 梨 県 下 部 町	成年 女子	鹿児島県	先鋒 中堅 大将	久 保 千 草 大 山 久美子 畠 中 晴 美	山 梨 県	し・ 応	山 田 登志美 高 橋 由香里	山 梨 県
		少年 女子	山 梨 県	先鋒 中堅 大将	近 藤 国 子 伊 藤 貴代美 土 橋 祐 子	山 梨 県	し・ 応	伊 藤 貴代美 土 橋 祐 子	
42	沖 縄 県 与 那 原 町	成年 女子	鹿児島県	先鋒 中堅 大将	久 保 千 草 大 山 久美子 畠 中 晴 美	沖 縄 県	し・ 応	城 間 智恵子 知 念 一 美子	沖 縄 県
		少年 女子	沖 縄 県	先鋒 中堅 大将	當 真 江利子 慶 田 和 子 真 栄城 睦 子	沖 縄 県	し・ 応	真 栄城 睦 子 慶 田 和 子	
43	京 都 府 木 津 町	成年 女子 1部	京 都 府	先鋒 中堅 大将	清 瀬 浩 子 堀 田 和 美 堀 田 恭 子	京 都 府	し・ 応	堀 田 恭 子 堀 田 和 美	京 都 府
		成年 女子 2部	福 岡 県	先鋒 中堅 大将	林 太 田 知 美 葉 山 奈緒美 岸 本 あかね	京 都 府	し・ 応	岡 本 啓 子 本 村 智 子	
		少年 女子	岡 山 県	先鋒 中堅 大将	奥 植 月 紀 子	京 都 府	し・ 応	田 中 千 景 高 橋 厚 美	
44	北 海 道 札 幌 市	成年 女子 1部	福 岡 県	先鋒 中堅 大将	太 田 知 美 葉 山 奈緒美 矢 永 信 子	北 海 道	し・ 応	河 野 理 子 高 桑 美智江	北 海 道
		成年 女子 2部	大 阪 府	先鋒 中堅 大将	島 名 松 垣 尚 子 北 川 由美子	大 阪 府	し・ 応	島 名 松 垣 尚 子 北 川 由美子	
		少年 女子	北 海 道	先鋒 中堅 大将	長 青 木 崎 亜由子 原 崎 亜由子	沖 縄 県	し・ 応	當 真 美 和 屋比久 夏 子	
45	福 岡 県 須 恵 町	成年 女子 1部	福 岡 県	先鋒 中堅 大将	太 田 知 美 葉 山 奈緒美 田 中 美 恵	和歌山県	し・ 応	穴 原 由貴子 山 中 美智子	福 岡 県
		成年 女子 2部	福 岡 県	先鋒 中堅 大将	吉 原 美由紀 矢 永 信 子 恒 成 静 香 子	福 岡 県	し・ 応	吉 原 美由紀 矢 永 信 子	
		少年 女子	福 岡 県	先鋒 中堅 大将	羽 野 康 裕 子 渡 辺 裕 子 上 野 美 紀	福 岡 県	し・ 応	羽 野 康 裕 子 上 野 美 紀	

回	開催地	種別	試 合				演 技				総合成績	
46	石 川 県 川 北 町	成年 女子 1部	石 川 県	先鋒 中堅 大将	池 中 越 中 田 崎	尾 越 中 崎 本 田	和 早 千 秋 登 志 美 佳 夕 真	子 代 秋 夕 美 真	石 川 県	し・ 応 山	池 尾 和 子 中 越 早 代 町 田 真 夕 山 崎 登 志 小野寺 麗 子	石 川 県
		成年 女子 2部	石 川 県	先鋒 中堅 大将	山 崎 宮 本 町 田	鳥 家 岸 本 定 兼	さお り 直 こ ず 子	え 子	石 川 県	し・ 応 山	齋 藤 理 恵 市 川 ゆう子 白 田 砂 織 佐 藤 由 美 金 子 美 紀	
		少年 女子	岡 山 県	先鋒 中堅 大将	吉 井 熊 澤 塚 大	晶 子 綾 子 佐 知 子	織 美 穂 京 紀 恵	子 子 子	山 形 県	し・ 応 齋	白 田 伊 織 市 川 ゆう子 白 田 砂 織 佐 藤 由 美 金 子 美 紀	
47	山 形 県 山 形 市	成年 女子 1部	東 京 都	先鋒 中堅 大将	吉 井 熊 澤 塚 大	白 田 佐 藤 熊 澤	砂 由 八 穂	織 美 穂 京 紀 恵	山 形 県	し・ 応 山	白 田 伊 織 市 川 ゆう子 白 田 砂 織 佐 藤 由 美 金 子 美 紀	山 形 県
		成年 女子 2部	山 形 県	先鋒 中堅 大将	長 金 齋 藤	瀬 子 藤	美 理 恵	京 紀 恵	山 形 県	し・ 応 齋	齋 藤 理 恵 市 川 ゆう子 白 田 砂 織 佐 藤 由 美 金 子 美 紀	
		少年 女子	山 形 県	先鋒 中堅 大将	山 下 中 穴	由 加 里 清 美 子	美 穂 子	子 子 子	香 川 県	し・ 応 山	中 崎 由 加 里 川 崎 美 都 高 橋 由 香 三 輪 悦 子	
48	香 川 県 琴 平 町	成年 女子 1部	香 川 県	先鋒 中堅 大将	山 下 中 穴	由 加 里 清 美 子	美 穂 子	子 子 子	香 川 県	し・ 応 山	中 崎 由 加 里 川 崎 美 都 高 橋 由 香 三 輪 悦 子	香 川 県
		成年 女子 2部	熊 本 県	先鋒 中堅 大将	内 田 水 本 左 村	讓 万 友 美 穂 子	子 子 子	子 子 子	香 川 県	し・ 応 山	飯 塚 義 子 与 語 美 恵 山 田 美 香 鬼 頭 奈 美 山 田 旬 子	
		少年 女子	香 川 県	先鋒 中堅 大将	石 井 福 三 輪	和 訓 悦	子 子 子	子 子 子	香 川 県	し・ 応 飯	塚 義 子 与 語 美 恵 山 田 美 香 鬼 頭 奈 美 山 田 旬 子	
49	愛 知 県 弥 富 町	成年 女子 1部	山 梨 県	先鋒 中堅 大将	小 笠 原 林 妙 祐	教 妙 祐	子 子 子	子 子 子	愛 知 県	し・ 応 山	飯 塚 義 子 与 語 美 恵 山 田 美 香 鬼 頭 奈 美 山 田 旬 子	愛 知 県
		成年 女子 2部	沖 縄 県	先鋒 中堅 大将	比 嘉 真 栄 城	勢 里 客	さ ゆ り	子 子 子	愛 知 県	し・ 応 山	飯 塚 義 子 与 語 美 恵 山 田 美 香 鬼 頭 奈 美 山 田 旬 子	
		少年 女子	岡 山 県	先鋒 中堅 大将	長 岸 本 道	亮 妙 美	子 子 子	子 子 子	愛 知 県	し・ 応 飯	塚 義 子 与 語 美 恵 山 田 美 香 鬼 頭 奈 美 山 田 旬 子	
50	福 島 県 会津若松市	成年 女子 1部	福 岡 県	先鋒 中堅 大将	田 中 稻 永 恒 成	美 恵 優 子 香 里	恵 子 香 里 子	子 子 子	福 島 県	し・ 応 菅	木 村 恵 美 菅 原 比 呂 大 西 貴 子	福 島 県
		成年 女子 2部	熊 本 県	先鋒 中堅 大将	林 田 大 石 緒 方	綾 香 里 子	子 子 子	子 子 子	福 島 県	し・ 応 江	中 野 晴 美 堀 田 紀 子	
		少年 女子	愛 媛 県	先鋒 中堅 大将	上 木 竹 内	恵 優 美	子 子 子	子 子 子	香 川 県	し・ 応 堀	田 紀 子 堀 田 紀 子	
51	広 島 県 西 城 町	成年 女子	愛 媛 県	先鋒 中堅 大将	萬 池 三 好	家 見 好 淑	利 敬 淑	恵 子 恵 子 恵 佳	広 島 県	し・ 応 渡	貞 森 弥 生 渡 辺 直 子 木 村 千 恵	広 島 県
		少年 女子	香 川 県	先鋒 中堅 大将	真 鍋 上 野 堀 田	裕 ひ と 涼	佳 子 子	子 子 子	広 島 県	し・ 応 山	本 さ つ き 山 本 さ つ き	
52	大 阪 府 豊 中 市	成年 女子	大 阪 府	先鋒 中堅 大将	木 島 島 名	下 名 名 名	三 恵 か お り き よ み	恵 子 恵 子 恵 佳	大 阪 府	し・ 応 島	名 か お り 島 名 き よ み 石 田 諒	大 阪 府
		少年 女子	大 阪 府	先鋒 中堅 大将	清 水 石 田	栄 美 諒	子 子 子	子 子 子	大 阪 府	し・ 応 清	水 栄 美 清 水 栄 美	



回	開催地	種別	試 合 競 技				演 技 競 技				総合成績
53	神奈川県	成年女子	大阪府	先鋒 中堅 大将	天川彰子 島名かおり 木下三恵	兵庫県	し・ 中平由美 前田富美	熊本県			
	鎌倉市	少年女子	熊本県	先鋒 中堅 大将	大曲里美 佐藤かな子 林田直子	神奈川県	し・ 佐藤瑠美 長谷川彩子				
54	熊本県	成年女子	熊本県	先鋒 中堅 大将	佐藤あき子 大石香里 内田譲子	東京都	し・ 吉井和代 大塚佐知子	熊本県			
	熊本市	少年女子	熊本県	先鋒 中堅 大将	大曲里美 神山友香 川口綾	大阪府	し・ 中村朋子 桜井阿弥子				
55	富山県	成年女子	熊本県	先鋒 中堅 大将	佐藤あき子 佐藤かな子 内田譲子	兵庫県	し・ 米谷美千代 中平由美	熊本県			
	福野町	少年女子	熊本県	先鋒 中堅 大将	神山友香 小澄倫子 川口綾	神奈川県	し・ 井上重希子 小谷ありさ				
56	宮城県	成年女子	和歌山県	先鋒 中堅 大将	三浦冬子 山崎美加子 三浦千代	宮城県	し・ 長嶺望 岡崎一美	熊本県			
	岩出山町	少年女子	熊本県	先鋒 中堅 大将	神山友香 久保田仁美 小澄倫子	宮城県	し・ 横澤重希 村田春香				
57	高知県	成年女子	熊本県	先鋒 中堅 大将	佐藤あき子 佐藤かな子 内田譲子	沖縄県	し・ 呉屋美根子 糸数珠江	熊本県			
	土佐清水市	少年女子	熊本県	先鋒 中堅 大将	神山沙記 久保田礼美 久保田仁美	高知県	し・ 池田あゆみ 竹葉美江				
58	静岡県	成年女子	熊本県	先鋒 中堅 大将	佐藤あき子 佐藤かな子 内田譲子	兵庫県	し・ 中平美佐 貴島政英	大分県			
	吉田町	少年女子	宮城県	先鋒 中堅 大将	松村ちひろ 松田優子 松田慶子	沖縄県	し・ 糸数ゆい 末吉梓				
59	埼玉県	成年女子	兵庫県	先鋒 中堅 大将	貴島政英 中平美佐 山口由美	香川県	し・ 池西洋子 堀田涼子	香川県			
	入間市	少年女子	熊本県	先鋒 中堅 大将	神山沙記 久保田義絵 久保田礼美	兵庫県	し・ 田澤典子 里澤真紀				
60	岡山県	成年女子	岡山県	先鋒 中堅 大将	植月孝子 石川直美 濱岡紀久子	兵庫県	し・ 貴島政英 山口由美	岡山県			
	勝央町	少年女子	岡山県	先鋒 中堅 大将	河本梨沙 谷元理恵子 山下みどり	岡山県	し・ 谷元理恵子 河本梨沙				
61	兵庫県	成年女子	兵庫県	先鋒 中堅 大将	貴島政英 中平美佐 山口由美	兵庫県	し・ 中平美佐 山口由美	兵庫県			
	伊丹市	少年女子	大分県	先鋒 中堅 大将	矢野真弓 板井奈津美 志村千尋	兵庫県	し・ 嵩田浩子 山田婦貴				

回	開催地	種別	試 合 競 技			演 技 競 技			総合成績
62	秋 田 県	成年女子	秋 田 県	先鋒 中堅 大将	今 竹 村 紀 子 吉 田 藍	真奈美 加 子 藍	香 川 県	し・ 応 池 西 洋 子 ・ 鈴 木 愛	秋 田 県
	大 仙 市	少年女子	佐 賀 県	先鋒 中堅 大将	岸 川 侑 加 田 中 彩 子 小 形 紗衣香		秋 田 県	・ 鈴 木 和	
63	大 分 県	成年女子	大 分 県	先鋒 中堅 大将	佐 藤 美穂子 築 城 理 恵 大 津 博 美		大 分 県	し・ 応 築 城 理 恵 ・ 大 津 博 美	大 分 県
	日 出 町	少年女子	大 分 県	先鋒 中堅 大将	阿 部 歩 美 中 洲 夏 海 大 亀 井 理 恵		東 京 都	・ 池 尾 梓 ・ 小 原 百合奈	
64	新 潟 県	成年女子	熊 本 県	先鋒 中堅 大将	大 曲 里 美 神 山 沙 記 佐 藤 あき子		兵 庫 県	し・ 応 貴 島 政 英 ・ 清 水 真由美	沖 縄 県
	刈 羽 村	少年女子	大 阪 府	先鋒 中堅 大将	岡 村 菜 奈 林 田 葉 純 室 谷 美 佐		山 口 県	・ 高 木 麻 美 ・ 村 田 有 香	
65	千 葉 県	成年女子	大 分 県	先鋒 中堅 大将	矢 野 真 弓 佐 藤 美穂子 板 井 奈津美		東 京 都	し・ 応 吉 井 和 代 ・ 小 山 知 子	東 京 都
	我 孫 子 市	少年女子	沖 縄 県	先鋒 中堅 大将	石 原 舞 子 城 間 望 城 間 さやか		兵 庫 県	・ 浅 沼 友 貴 ・ 嶋 留 衣	
66	山 口 県	成年女子	島 根 県	先鋒 中堅 大将	井 上 美 代 安 喰 愛 子 釜 屋 寛 子		東 京 都	し・ 応 小 山 知 子 ・ 吉 井 和 代	山 口 県
	下 関 市	少年女子	大 阪 府	先鋒 中堅 大将	林 田 智 笑 北 川 史 華 林 田 葉 純		山 口 県	・ 市 川 千 裕 ・ 宮 奥 通 子	
67	岐 阜 県	成年女子	島 根 県	先鋒 中堅 大将	釜 屋 寛 子 安 喰 愛 代 井 上 美 代		東 京 都	し・ 応 小 山 知 子 ・ 吉 井 和 代	大 阪 府
	岐 南 町	少年女子	大 阪 府	先鋒 中堅 大将	林 田 智 笑 西 村 咲 哉 天 願 由 香		岐 阜 県	・ 三 宅 里 奈 ・ 三 宅 留 以	
68	東 京 都	成年女子	大 阪 府	先鋒 中堅 大将	林 田 智 笑 岡 村 菜 奈 林 田 葉 純		東 京 都	し・ 応 小 山 知 子 ・ 吉 井 和 代	東 京 都
	港 区	少年女子	神奈川県	先鋒 中堅 大将	飯 沼 美 森 久 保 美 菜 中 村 美 伶		沖 縄 県	・ 玉那覇 葉 月 ・ 慶留間 幸 音	
69	長 崎 県	成年女子	岡 山 県	先鋒 中堅 大将	早 瀬 恵里可 濱 岡 紀久子 植 月 孝 子		長 崎 県	し・ 応 濱 崎 万梨子 ・ 萩 原 有 未	和歌山県
	松 浦 市	少年女子	佐 賀 県	先鋒 中堅 大将	川 崎 菜 緒 草 野 汐 梨 畠 山 花 菜		長 崎 県	・ 鶴 田 彩 乃 ・ 果 竹 奈菜珠	
70	和 歌 山 県	成年女子	和歌山県	先鋒 中堅 大将	角 谷 香 織 山 内 綾 代 山 本 千 花		福 岡 県	し・ 応 谷 口 佳捺湖 ・ 田 中 利 江 月	和歌山県
	九 度 山 町	少年女子	香 川 県	先鋒 中堅 大将	林 田 彩 花 宮 武 佑 希 竹 下 知 里		和歌山県	・ 石 原 葉 月 ・ 西 平 春 菜	

回	開催地	種別	試 合				演 技				総合成績
71	岩 手 県  一 戸 町	成年女子	和歌山県	先鋒 中堅 大将	塚山本紀衣 山本内千代綾	東 京 都	し・ 応	中 島 沙 織 吉 井 和 代	東 京 都		
		少年女子	熊 本 県	先鋒 中堅 大将	春山りんか 北島未智優	岩 手 県	し・ 応	山 火 ゆ か 武 田 智 摘			
72	愛 媛 県  松 山 市	成年女子	和歌山県	先鋒 中堅 大将	塚角本紀香織 山本千代姫生	愛 媛 県	し・ 応	村 上 優 長 澤 美 咲 神 山 愛 姫	愛 媛 県		
		少年女子	愛 媛 県	先鋒 中堅 大将	神山口味悠真	愛 媛 県	し・ 応	八 木 悠 真			
73	福 井 県  鯖 江 市	成年女子	大 阪 府	先鋒 中堅 大将	林田智笑 金岡智子純	福 井 県	し・ 応	仕 入 愛 梨 渡 辺 啓 乃	大 阪 府		
		少年女子	福 井 県	先鋒 中堅 大将	山崎莉奈 織田千尋麻衣	福 井 県	し・ 応	瀧 口 麻 衣 織 田 千 尋			
74	茨 城 県  常陸大宮市	成年女子	熊 本 県	先鋒 中堅 大将	春山さくら 春山りんかあき子	茨 城 県	し・ 応	服 部 ゆかり 新 島 希 美	茨 城 県		
		少年女子	大 阪 府	先鋒 中堅 大将	辻口恵里那 出口茉歩 増 田 美 咲	茨 城 県	し・ 応	久保リビア明日香 橋 本 瑠 李			
75	鹿 児 島 県  枕 崎 市 ※ 中 止	成年女子		先鋒 中堅 大将			し・ 応				
		少年女子		先鋒 中堅 大将			し・ 応				
76	三 重 県  津 市 ※ 中 止	成年女子		先鋒 中堅 大将			し・ 応				
		少年女子		先鋒 中堅 大将			し・ 応				
77	栃 木 県  栃 木 市	成年女子	東 京 都	先鋒 中堅 大将	北島希織 中和田沙うらら	鹿児島県	し・ 応	田 口 真 耶 秋 葉 笑 里	奈 良 県		
		少年女子	大 分 県	先鋒 中堅 大将	坂口藤永真歩 伊衛藤	沖 縄 県	し・ 応	泉 水 ほのか 平安名 は な	沖 縄 県		
特別	鹿 児 島 県  枕 崎 市	成年女子	和歌山県	先鋒 中堅 大将	角谷香織 山内千代綾	鹿児島県	し・ 応	田 口 真 耶 秋 葉 笑 里	沖 縄 県		
		少年女子	大 分 県	先鋒 中堅 大将	山本名七海春香 浦田石結	沖 縄 県	し・ 応	泉 水 ほのか 城 間 こころ			
78	佐 賀 県  嬉 野 市	成年女子	佐 賀 県	先鋒 中堅 大将	安藤万莉 江越由季菜	兵 庫 県	し・ 応	阿 部 真 優 浅 沼 友 貴	佐 賀 県		
		少年女子	佐 賀 県	先鋒 中堅 大将	小森亜実桜叶 大谷舞 高 島 蛭 叶	東 京 都	し・ 応	片 岡 萌 山 本 小百合			



# 彦根市

## Hikone City

### 【彦根市の概要】

所在地：滋賀県彦根市元町4番2号（市役所）

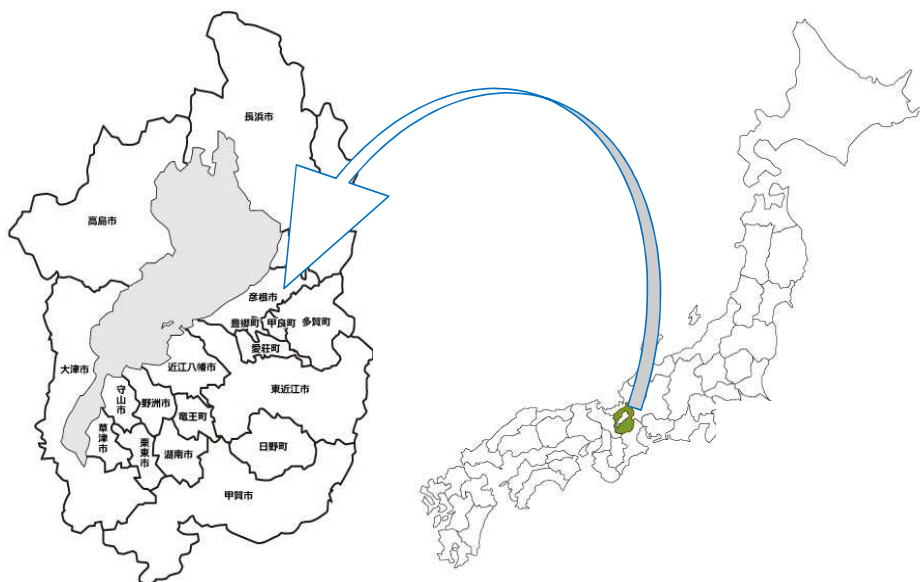
北緯：35度16分

東経：136度16分

総面積：196.87km<sup>2</sup>

人口：110,623人（R7.7.31現在）

世帯数：51,901世帯（R7.7.31現在）



彦根市は、日本のほぼ中心に位置し、琵琶湖国定公園や鈴鹿国定公園に囲まれた近江盆地の一角にあり、水と緑に恵まれた豊かな自然環境があります。また、北は米原市、東は犬上郡多賀町、南東は同郡甲良町・豊郷町、愛知郡愛荘町、南は東近江市、そして西は琵琶湖に面しています。北東部の霊仙山地を除くとほぼ沖積平野で、芹川・犬上川・宇曾川などが流路を刻み、東近江市との境を愛知川が流れて、いずれも琵琶湖に注いでいます。宇曾川左岸に古代には覇流（へる）岡と呼ばれた荒神山がそびえ、北部の湖岸寄りに佐和山があります。佐和山の東には、東方から霊仙山地が張り出し、北には入江内湖、西には松原内湖が広がっています。したがって、琵琶湖湖東地方を貫通する陸路は佐和山東麓に集中し、古代の東山道以来、近世の中山道等を経て現代に至るまで交通の要衝でありました。現在もこの地を国道8号、名神高速道路、東海道新幹線、近江鉄道本線などが走り、西麓をJR東海道本線が通ります。気候は、瀬戸内四季気候区の東端にあたる一方、冬期は北陸型の気候となり強い北西の季節風による降雪もあります。このように、自然の要素が織りなす落ち着いた風土と景観が彦根をかたちづくり、市民に豊かな恵みとやすらぎを与えてくれるかけがえのない財産となっています。

### 彦根市の木



たちばな

たちばなは、ミカン科の常緑小高木です。京都御所紫宸殿の前庭にある右近のたちばなは本種の一つで、歴史的にも本市とは最も縁が深く選ばれたものです。

### 彦根市の花



はなしょうぶ

はなしょうぶは、わが国の代表的な園芸植物として知られ、水辺に生育して品位のある豪華な花をつけます。優雅な風情をただよわせているところから多くの市民に親しまれ、城下町である本市には、濠や庭園、田園地帯など、生育に適したところが多いことから選ばれたものです。

### 観光スポット

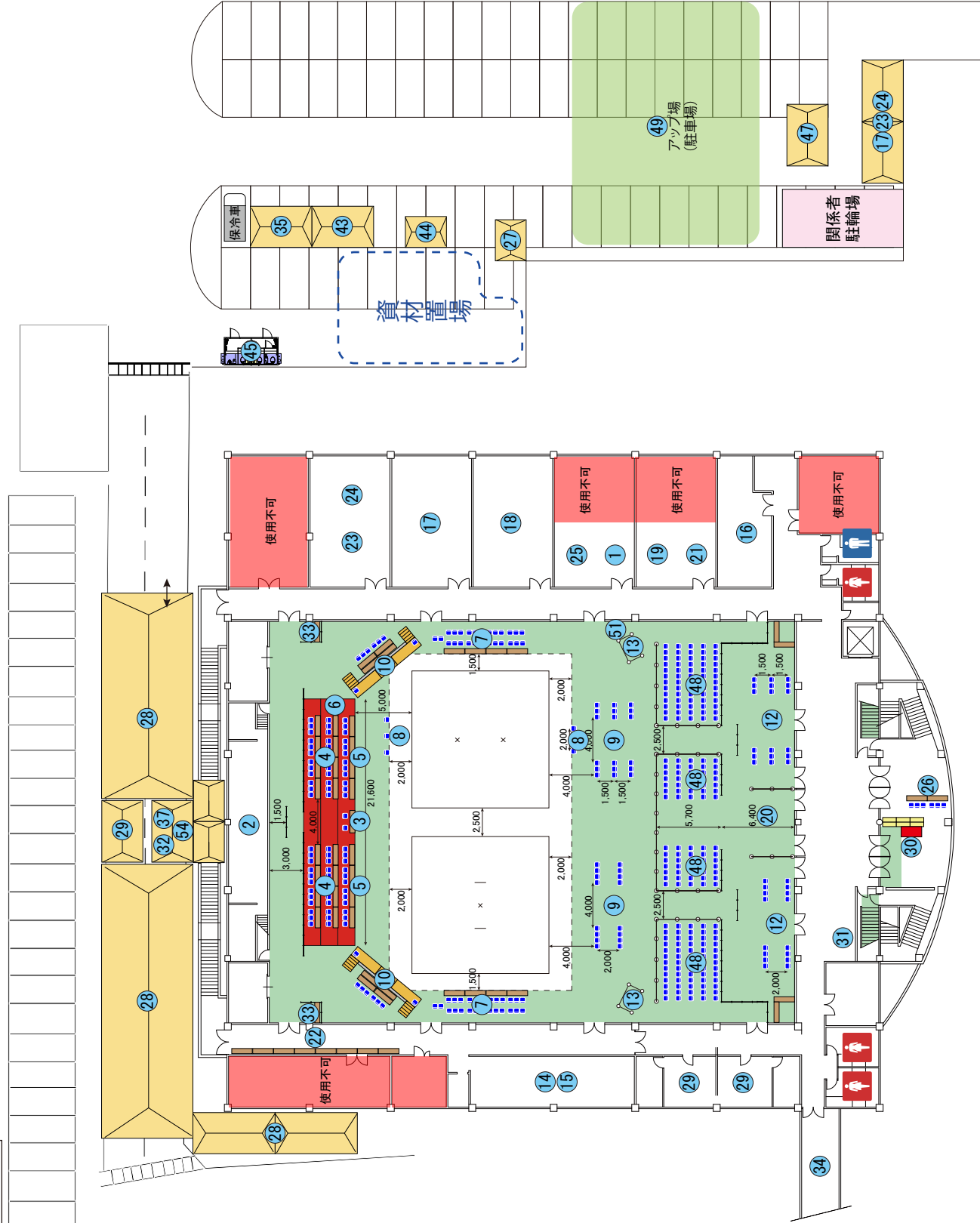
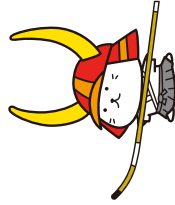


彦根城

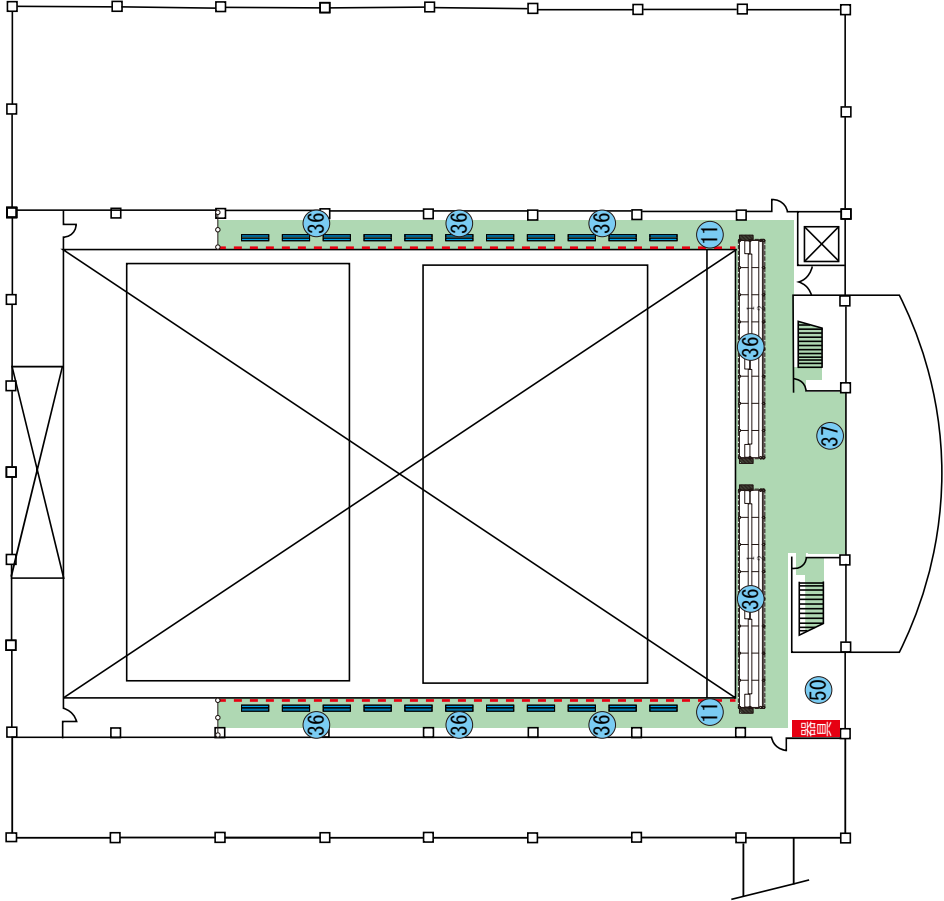
彦根城は、将軍徳川家康公の命により佐和山城を一掃するため、慶長9年（1604）より着工され、徳川四天王のひとりである井伊直政の子、直継によって築かれた城です。当初は湖畔の磯山を予定していたといわれていますが、直継の代になって現在の彦根山に決定し、20年の歳月をかけて築城されました。天守は大津城から、天秤櫓は長浜城から移築。天守は2年足らずで完成しましたが、表御殿の造営、城郭改造など、城郭の完成は1622年とされています。以降、多くの大老を輩出した譜代大名である井伊氏14代の居城として用いられました。現存12天守のひとつであり、天守は国宝に指定されています。また、彦根城の周囲は特別史跡に指定されています。

本大会

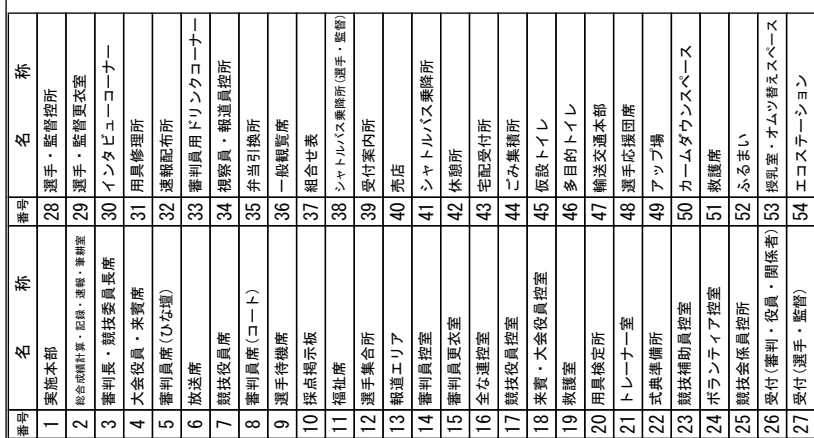
番号	名	称	番号	名	称
1	実施本部		28	選手・監督控所	
2	総合成績計算・記録・連絡・審判室		29	選手・監督更衣室	
3	審判長・競技委員長席		30	インタビュコーナー	
4	大会役員・来賓席		31	用具修理所	
5	審判員席(ひな壇)		32	連絡配布所	
6	放送席		33	審判員用ドリンクコーナー	
7	競技役員席		34	物察員・報道員控所	
8	審判員席(コート)		35	弁当引換所	
9	選手待機席		36	一般観覧席	
10	採点掲示板		37	組合せ表	
11	福祉席		38	シャトルバス乗降所(選手・監督)	
12	選手集合所		39	受付案内所	
13	報道エリア		40	売店	
14	審判員控室		41	シャトルバス乗降所	
15	審判員更衣室		42	休憩所	
16	全な運控室		43	宅配受付所	
17	競技役員控室		44	ごみ集積所	
18	来賓・大会役員控室		45	仮設トイレ	
19	救護室		46	多目的トイレ	
20	用具検定所		47	輸送交通本部	
21	トレーナー室		48	選手応援団席	
22	式典準備所		49	アップ場	
23	競技補助員控室		50	カーンダウンスペース	
24	ボランティア控室		51	救護席	
25	競技会係員控所		52	ふるまい	
26	受付(審判・役員・関係者)		53	授乳室・オムツ替えスペース	
27	受付(選手・監督)		54	エコステーション	




	競技名	会場名	図面名	縮尺	作成日
	第79回国民スポーツ大会 (なぎなた競技)	パナソニック株式会社くらしアプライアンス社 彦根工場多目的ホール	競技会場配置図	1/500 (A4)	2025. 8. 21



番号	名	称	番号	名	称
1	実施本部		28	選手・監督控所	
2	総合成績計算・記録・連絡・審判室		29	選手・監督更衣室	
3	審判長・競技委員長席		30	インタビュコーナー	
4	大会役員・来賓席		31	用具修理所	
5	審判員席(ひな壇)		32	連絡配布所	
6	放送席		33	審判員用ドリンクコーナー	
7	競技役員席		34	物察員・報道員控所	
8	審判員席(コート)		35	弁当引換所	
9	選手待機席		36	一般観覧席	
10	採点掲示板		37	総合せ表	
11	福祉席		38	シャトルバス乗降所(選手・監督)	
12	選手集合所		39	受付案内所	
13	報道エリア		40	売店	
14	審判員控室		41	シャトルバス乗降所	
15	審判員更衣室		42	休憩所	
16	全な連控室		43	宅配受付所	
17	競技役員控室		44	ゴミ集積所	
18	来賓・大会役員控室		45	仮設トイレ	
19	救護室		46	多目的トイレ	
20	用具検定所		47	輸送交通本部	
21	トレナー室		48	選手応援団席	
22	式典準備所		49	アップ場	
23	競技補助員控室		50	カーンダウンスペース	
24	ボランティア控室		51	救護席	
25	競技会係員控所		52	ふるまい	
26	受付(審判・役員・関係者)		53	授乳室・オムツ替えスペース	
27	受付(選手・監督)		54	エコステーション	



	競技名	会場名	縮尺	作成日
	第79回国民スポーツ大会 (なぎなた競技)	パナソニック株式会社くらしアライアンス社 彦根工場多目的ホール	1/600 (A4)	2025. 8. 20

# なぎなた連盟事務局一覧

連盟名	郵便番号	住 所	電話番号
(公財)全日本なぎなた連盟	664-0851	兵庫県伊丹市中央1-6-19 5階	072-775-2838
北海道なぎなた連盟	006-0820	北海道札幌市手稲区前田十条19-7-11	北野方 011-682-8225
青森県なぎなた連盟	038-0004	青森県青森市富田5-14-3	近村方 017-781-5359
岩手県なぎなた連盟	028-4307	岩手県岩手郡岩手町大字五日市11-110-12	稲村方 0195-62-2779
宮城県なぎなた連盟	989-6143	宮城県大崎市古川中里2-2-12	熊倉方 090-2970-2287
秋田県なぎなた連盟	010-0851	秋田県秋田市手形字才ノ浜31-42	梅津方 090-4884-7144
山形県なぎなた連盟	990-2412	山形県山形市松山2-11-30 山形県スポーツ会館内	023-684-7878
福島県なぎなた連盟	969-6500	福島県河沼郡会津坂下町字中岡1-9	佐々木方 0242-82-4446
茨城県なぎなた連盟	310-0061	茨城県水戸市北見町2-27 アトリエK内	029-246-0054
栃木県なぎなた連盟	328-0015	栃木県栃木市万町24-14	篠原方 090-2330-9032
群馬県なぎなた連盟	373-0816	群馬県太田市東矢島町118-1	井上方 090-1540-7849
埼玉県なぎなた連盟	351-0023	埼玉県朝霞市溝沼7-5-8-610	芦川方 048-468-5815
千葉県なぎなた連盟	285-0857	千葉県佐倉市宮ノ台5-20-16	大塚方 043-462-2243
東京都なぎなた連盟	170-0004	東京都豊島区北大塚2-17-12 伊藤ビル501	03-3940-0017
神奈川県なぎなた連盟	240-0015	神奈川県横浜市保土ヶ谷区岩崎町18-23	奥山方 045-336-2122
山梨県なぎなた連盟	400-0008	山梨県甲府市緑が丘2-13-23	岡田方 055-252-8053
新潟県なぎなた連盟	940-0834	新潟県長岡市末広3-8-13	倉金方 090-4959-6628
長野県なぎなた連盟	386-1212	長野県上田市富士山3313-15	我山方 0268-39-4083
富山県なぎなた連盟	939-8005	富山県富山市中市1-14-14	佐野方 076-425-6348
石川県なぎなた連盟	920-0314	石川県金沢市金石御船町1-35	箸本方 076-267-7024
福井県なぎなた連盟	918-8226	福井県福井市大畑町51-23	瀧口方 0776-53-4622
静岡県なぎなた連盟	417-0862	静岡県富士市石坂425-11	片桐方 0545-21-5309
愛知県なぎなた連盟	458-0014	愛知県名古屋市中区神沢1-1711	増田方 090-4164-5870
三重県なぎなた連盟	510-0201	三重県鈴鹿市稲生町8232-1 稲生高等学校内	中島気付 059-368-3900
岐阜県なぎなた連盟	501-3817	岐阜県関市仲町14-8	一色方 0575-22-0257
滋賀県なぎなた連盟	520-0112	滋賀県大津市日吉台2-28-8	吉田方 077-579-3496
京都なぎなた連盟	606-0802	京都府京都市左京区下鴨宮崎町59-8	小川方 075-724-3975
大阪なぎなた連盟	545-0005	大阪府大阪市阿倍野区三好町2-10-32 阿倍野産業会館 (株)広瀬製作所内	06-6623-8708
兵庫県なぎなた連盟	662-0824	兵庫県西宮市門戸東町1-5-304	阿江方 090-3426-3493
奈良県なぎなた連盟	630-0243	奈良県生駒市俵口町242-45	村上方 0743-71-6010
和歌山県なぎなた連盟	641-0033	和歌山県和歌山市松ヶ丘2-4-25	坂東方 073-444-6959
鳥取県なぎなた連盟	680-0863	鳥取県鳥取市大覚寺54-28	西尾方 090-7593-7028
島根県なぎなた連盟	693-0073	島根県出雲市西林木町3 出雲北陵中学・高等学校内	井上気付 0853-21-1871
岡山県なぎなた連盟	709-4331	岡山県勝田郡勝央町植月北2561-1	森谷方 090-5691-3502
広島県なぎなた連盟	731-3411	広島県山県郡安芸太田町穴922-3	福田方 090-7971-7378
山口県なぎなた連盟	747-0825	山口県防府市大字新田1960-4	森田方 080-1909-8544
香川県なぎなた連盟	766-0022	香川県仲多度郡まんのう町吉野下260-1	大岡方 0877-73-3665
徳島県なぎなた連盟	779-0302	徳島県鳴門市大麻町大谷字東山谷41-2	谷崎方 088-689-1254
愛媛県なぎなた連盟	791-8011	愛媛県松山市吉藤4-1-6	鈴木方 089-923-5832
高知県なぎなた連盟	788-0008	高知県宿毛市与市明5-82 高知県立宿毛高等学校内	橋本気付 0880-63-2164
福岡県なぎなた連盟	818-0067	福岡県筑紫野市俗明院133-3-907	矢野方 090-928-7342
佐賀県なぎなた連盟	849-4261	佐賀県伊万里市山代町立岩732	山本方 0955-28-3317
長崎県なぎなた連盟	848-0403	長崎県松浦市福島町塩浜免2944-21 松浦市立福島診療所	荒木気付 090-4996-5821
熊本県なぎなた連盟	862-0950	熊本県熊本市中央区水前寺5-23-2 熊本武道館内	096-383-4912
大分県なぎなた連盟	870-0835	大分県大分市上野丘1-11-14 大分県立爽風館高等学校内	渡辺気付 097-547-7700
宮崎県なぎなた連盟	883-0022	宮崎県日向市大字平岩493-1	黒木方 090-4998-0207
鹿児島県なぎなた連盟	892-0872	鹿児島県鹿児島市大明丘3-43-7	平山方 099-243-8737
沖縄県なぎなた連盟	903-0112	沖縄県中頭郡西原町字我謝815 メソソライ7103	瀬長方 090-3071-0921
全日本学生なぎなた連盟	664-0858	兵庫県伊丹市西台1-5-21 伊丹くれたけマンション601	072-782-4558



# NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、  
みんなが『NO！』と言う社会を目指して

## 『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、また誰に対してであっても、スポハラは起こります。



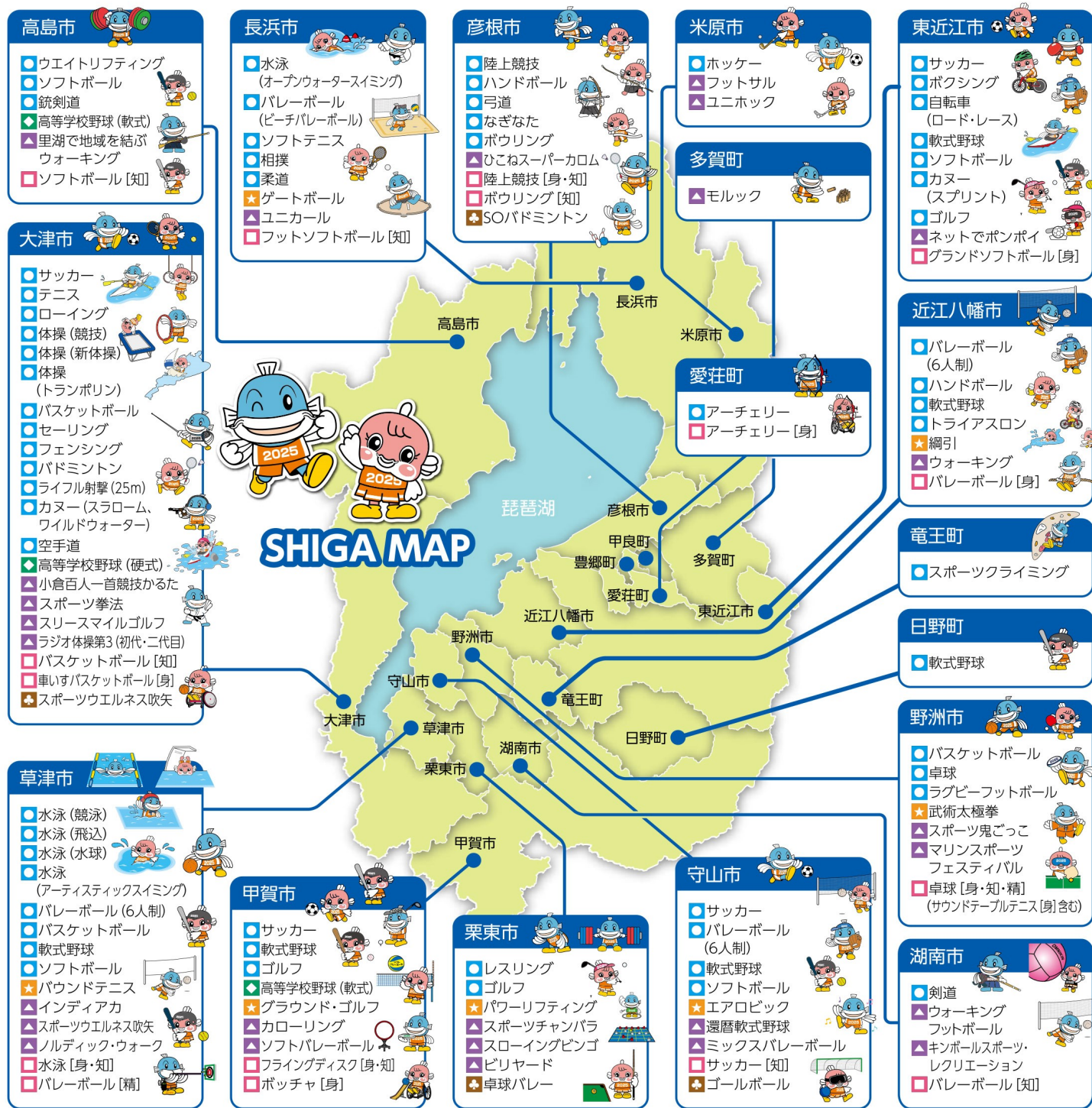
Japanese  
Olympic  
Committee





# わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 競技会場地マップ

2025年8月現在



## 国民スポーツ大会

- 正式競技(37競技)
- 特別競技(1競技)
- 公開競技(7競技)
- デモンストレーションスポーツ(26競技)

## 全国障害者スポーツ大会

- 正式競技(14競技)
- オープン競技(4競技)

[身] = 身体障害者 [知] = 知的障害者 [精] = 精神障害者

※国スポ競技会の詳細については各競技会場市町にお問合せください。  
※所在地と運営準備市町が異なる場合があります。

## 県外開催競技

京都府  
向日市

- 自転車(トラック・レース)

大阪府  
豊能郡能勢町

- ライフル射撃(50m、10m、BR・BP)

兵庫県  
三木市

- 馬術

びわこ国体・びわこ大会から44年ぶりの開催!

国スポ実施期間 令和7年 9月28日(日)~10月8日(水) [11日間開催]  
国スポ会期前実施競技 令和7年9月6日(土)~9月15日(月)、令和7年9月21日(日)~9月25日(木)  
障スポ実施期間 令和7年10月25日(土)~10月27日(月) [3日間開催]

大会公式SNS・HPはコチラから!

滋賀2025

検索

2024年から国民体育大会(国体)は、国民スポーツ大会(国スポ)に名称変更されました。

大会PR  
動画を公開!

Instagram



X



大会HP



さらなる高みを目指して、日々努力するアスリートの姿を臨場感あふれる競技者と一緒にご覧ください。



●用紙: 責任ある木質資源を再生資源を使用したFSC® 認証用紙  
●インキ: 植物油インキを使用

# 「しが」から「あおもり」へ



湖国の感動 未来へつなぐ  
**わたSHIGA輝く国スポ**  
第79回国民スポーツ大会 **2025**



青の煌めきあおもり国スポ  
**2026** 翔ける未来へ縄文の風に乗って  
第80回国民スポーツ大会

## 競技結果速報・速報URL

PC・スマホ

<https://kirokukensaku.net/5NS25/index.html>



フィーチャーフォン（ガラケー）

<http://kirokukensaku.net/5NS25/mob/index.html>



## わたSHIGA輝く国スポ・障スポ彦根市実行委員会事務局

実行委員会ホームページ

<https://hikone-kokuspo2025.jp/>



X（旧 Twitter）

[https://x.com/hikone\\_kokuspo](https://x.com/hikone_kokuspo)



Instagram

[https://www.instagram.com/hikone\\_kokuspo/](https://www.instagram.com/hikone_kokuspo/)

